

芦屋市教育振興に関するアンケート調査 自由意見一覧(市民対象)

【市民調査】問32①就学前の幼稚園・保育所(園)における教育

- ・ あいさつが出来るように。
- ・ 色々な物に興味を持てるように。
- ・ 自信を持てるように。
- ・ しつけ、団体行動
- ・ 伝統食に根ざした食の教育
- ・ 正しい言葉使い
- ・ 基本的なあいさつや集団生活のルール
- ・ 知らない人について行かない、名前を教えないなどの危険回避
- ・ 協調性、皆んなで力を合わせて頑張る心を作る
- ・ しつけ、道徳心、常識
- ・ 体力をつける
- ・ 日常生活の基本的な事が学べる
- ・ 体力、健康の保持
- ・ ☆運動・体力作り
- ・ ☆童謡をたくさん歌う
- ・ ☆友達でたくさんけんかしてなかなかおりする。(なかなかおりの仕方)
- ・ 3年保育の実施
- ・ 3年保育、給食を取り入れるべき。今の時代にあっていない。コンクリートの角や、みぞなど危険なところが多すぎる。
- ・ ④と同じでマナーについて(最低限のマナー)例①人のモノを勝手にもちださない。②よその家でいろいろ物をさわらない。おねだりしない。寝転ばない。
- ・ あいさつが出来ること。
- ・ あいさつの出来る子供に先生との対話
- ・ あいさつをしたら、あいさつを普通に返せるように指導してほしいです。
- ・ 芦屋市の幼児教育はすばらしい。
- ・ アンケートに回答している最中に気が付いたのですが、独身で子供がいないせいか、市内の子供の教育についてあまりにも無関心でした。回答者失格です。申し訳ございません。
- ・ 安全な環境
教育者への教育をしつづけること
- ・ 今迄知らなかった人と、どう触れ合っていけるのか。早く仲良しが出来て楽しく遊べる教育指導。
- ・ 美しいものを見たり聴いたりする。
- ・ 思いっきり走ったり遊んだりできるスペースが狭い施設が多い気がします。
- ・ 思いやり
- ・ 親子の登下園時の交通マナーの徹底。
- ・ 親参加の行事が少し多すぎる様に思え、有職主婦は大変な感じがする。
- ・ 親と子の秩序ある関係

- ・ 親に甘えない何でも自分でする自立の精神・教育が必要。
- ・ 親の教育。
- ・ 親への子育てに関する教育
- ・ お家で遊んでばかりいてはいけないと思い公園に行くが誰も遊んでいない。皆さん保育園に行っている。一軒のお宅に順番に伺いお昼ごはんをたべて朝から1日中家の中。何軒かのお宅の方々は親交が深まるでしょうが、お外でも遊んだら。
- ・ 外国人講師を加えての授業。
- ・ 家庭でのしつけ等の教育が重要だと思う。
- ・ 家庭における”しつけ教育”の強化を。
- ・ 過保護になりすぎない。
- ・ 基礎教育の準備
- ・ 帰宅後も園内で遊べるような環境を作って欲しい。
- ・ 協調性
- ・ 敬愛と協同の精神を幼少期から養う。
- ・ 子育てや家庭教育など親に対する学習教育機会を重点にする。
- ・ 子供たちがもう社会人なので今の状況がよくわかりません。
- ・ 子どもの安全性
- ・ このアンケートを作った人は偏っていると思う。教育者としていかがなものか？教育は元来親がするものでし
かし生きて行くのに
- ・ このままで良いと思う。保護者が自分から進んで子供に与えることを「教育」と思うが、園や保育所がすべてお
しつけているように感じる。
- ・ この時期は親の分からないあるいは知らない事が多いので、子供の発達に合わせた対応の仕方や、知識を
得られるように務めてほしい。
- ・ この時期は人とのかわり、運動能力向上に当てるべきだと思います。知力よりすなおな子供であってほしい
- ・ この部分はわかりません。
- ・ コミュニケーション出来、元気の良い子供を育てる教育。
- ・ コミュニケーション能力
- ・ ころぶと痛い、たたかれると痛い、ナイフで切ると血が出て痛い、静かにしている、いじめられると悲しい、ほめ
られるとうれしい、やさしくしてあげると気持ちがよい…親からはなれる子供ははじめての大切な経験をします。
今はクレームをつけられるのをおそれるあまり、子供をかまひすぎ、甘やかしすぎ。放任でなく、気を付けて小
さい間にいろいろ経験させるべき。
- ・ 自然と多くふれあう機会。
- ・ しつけを充分にすること
- ・ シニアのため、現状が分からないので提案等ができません
- ・ 週1回程度の基礎訓練
- ・ 集中力を身につけること。
- ・ 情操教育

- ・ 市立幼稚園が3年になれば、子供にとって学べる時間が増える。
- ・ すばらしい先生が多く、充実した内容でした。ただ幼稚園の図書室が古い本ばかりで整理されていなく、専任の方がいなかったのが残念です。地域の方にボランティアで入ってもらって絵本を読んだりして園児と交流を図ってはと思います。
- ・ 生活習慣、協調性の指導、地域コミュニティの強化
- ・ 善悪の区別をつける
挨拶がしっかりできるようにする
基本的な生活習慣を身につける
- ・ 外で元気に遊ぶ事。好き嫌いなく食べる事。友達とのふれあい。
- ・ 体力作り。子供同志のふれ合い、コミュニケーション。
- ・ たくさんの子ども達が、私立中学校へ入学する地域にあつて、幼稚園、保育所での経験は何物にも変えがたいので、できる限り、自然や芸術に触れさせること
- ・ 正しい心、正しい物事の判断が出来る基礎作りをして下さい。
- ・ 他人に思いやり、自立心を養う。
- ・ 楽しくらせる園
やさしい
- ・ 多様性を認める心を育む教育
- ・ 地域に於ける住民交流が重要だと思います。
- ・ 小さい時から他人に対する思いやりの心を育てる。
- ・ 動物、生き者をかわいがる、命の大切さ。
- ・ どこも保育園はいっぱいで待っている状態だと聞きます。今は認可外に預けていますが、市役所に出向かなくても今の現状を知る方法があると良いと思います。
- ・ どちらも数が少ないと思います。一時預かりをしてくれる所ももっと増やしてほしいです。
- ・ なし
- ・ ニーズにとらわれず、組織で考え、活動していただきたい
- ・ 認定保育園を増やして欲しい。親が病気ですぐに預ける事が出来ず大変苦労しました。
- ・ 判断力の向上。
- ・ ひとりっ子が多い昨今、集団生活を通して、人としての土台作りのとても大切な場だと思います。指導者の奮闘を祈ります。
- ・ ひとりひとりの違いを認められる基礎作りに心を配る教育をしてほしい。先生がそれを身に付けていただきたい。
- ・ 貧富の格差をなくし、習い事など誰もができるようにしてほしい。
- ・ 夫婦で働いている方がほとんどなので保育所を充実する。
- ・ 保育士の能力UPと子供の親の認識UP。
- ・ 保育所の数が少ない様に思える。
- ・ 保育所の増設。学童保育の整備。
- ・ 保母さん等の賃の高上が一番。

- ・ ほめてほめて育てる。というような世の中になっているので、小さいうちから、ほめるだけでなく、しかるということをし、きちんとした方がよい。
- ・ ボランティアとして手話あそびをおしえてあげたい。
- ・ 本の読みきかせ。
- ・ 孫の通っている幼稚園の先生の中には、保護者の態度が気になる様なそぶりが見えました。先生としての自覚と自信を持って欲しいです。
- ・ まだまだ小さいので、色々出来る子とそうでもない子がいると思います。出来の悪い子もいろんな体験ができて興味を持てるよう指導をお願いします
- ・ マナー教育、体力の向上
- ・ マナー教育の強化。
- ・ もう、子供をそだてる、時代は、終わりましたが、我々の時代とは、何かが違う。感があります。時代は変化しているのかな。いやいや基本は変わらないはず。
- ・ もう少し長い時間の預かり(幼)と、心の成長をうながす芸術活動及び身体の発達を目的とした運動をした方がよいのでは。
- ・ モラルの教育
- ・ モンスターな親への接し方対策。子どもをあずけやすい施設の充実。数も増やす。
- ・ やさしく思いやりある人の気持ちがわかる子
- ・ 良い幼稚園あり素晴らしいと思います。
- ・ 幼稚園、保育所の一体化、3年保育の早期実現。延長保育の充実。あずかりだけでなく教育、習塾の実施。
- ・ 幼稚園は3年保育にし、集団生活や学習(計算・読み書き)などに力を入れて欲しい。
- ・ よく食べさせ、よく寝かせて、よく遊ばせればOK。教育委員会とは何ぞや。教育委員会は機能しているのか。
- ・ よく遊ばせる。本を多く読み聞かせる。クレヨン等で絵を描かせる。汚れても気にせず最後迄させる。おやつ、食事はよくしゃべりながら
- ・ 私は子供がいませんが、次世代。日本の未来を築いてもらえる人材育成に頑張ってもらいたい。
- ・ 挨拶をしっかり身に付ける教育を。
- ・ 園の近くを通る時足を止め見ると喜び声の出ている子供達に1日の喜びをもらう事、である
- ・ 園内外での安全性。食事等のマナーを小さい時に身に付ける。人に迷惑をかけない事を教える。
- ・ 横ならびの一斉教育ではなく、モンテッソーリ教育のような個々を大切にし個性を伸ばす教育を取り入れて欲しい。まずは保育園の待機児童を減らすためにも幼稚園を3年保育に変更して頂きたい。
- ・ 家庭との連携。
- ・ 家庭と学校(就学)の橋渡しの役割。少しずつ自立、共生能力を身につけていく。
- ・ 家庭教育の重要性。躰のできない親、あたりまえの事ができない子。就学前に身につけるべき事ができてない。小学校入学前にどの位の事ができる様にといい基準を提示する。
- ・ 我慢
- ・ 皆さんと仲よく行動できるようになればいいと思います。
- ・ 学ぶことの楽しさへ導く。自主性と協調性を育てる。交通安全

- ・ 学習させるというよりも人と人が関わり、共に生きていくということ、仲良くする手助けするということを体験してもらう教育が必要だと思います。同年代の子供が集まれる場を提供していただけることがうれしいです。
- ・ 基本的、ごあいさつ、イスにすわって先生の話を聞くなどの事ができる、すすんでお手伝いができるなど社会生活のマナー
- ・ 基本的な生活、マナー、善悪の区別
- ・ 基本的な生活習慣。早寝早起き等の規則正しい生活あいさつやルールを守ること。就学前から中学校と一貫性をもって指導して頂きたい。
- ・ 基本的な生活習慣をしっかりとつけさせること。善、悪の区別をつけること。言葉の使い方、しゃべり方、敬語などを定着させること
- ・ 机に向かって字を書く、ということ。私立出身の子供との差が大き過ぎるので。
- ・ 虐待、ネグレクト家庭等を見逃さず、早期対応できる環境。
- ・ 宮川幼稚園では、先生方に大変お世話になりました。きめ細やかに目配りやお心遣いを頂きまして、感謝でいっぱいです。子どもにとっての集団生活スタートが宮川幼稚園の先生方に見守られる中であったこと、今も感謝しております。先生方がお忙しい中でもいつでも相談にのって下さいました。子どもたちがひとりひとり輝きを放っていることをいつも伝えて下さいました。きめこまやかに接して下さいましたこと、忘れません。
- ・ 共働き家庭への支援体制の充実
- ・ 協調性を養う。善悪の判断ができるようにする。
- ・ 教育したくても、保育所(認可)が足りてないために、働くこともできないし、教育もできない。もっと待機児童を減らすための努力をしてほしい。市役所の保育課に行っても相談にもってもらえず教育以前の問題
- ・ 教育も大事だが、私達大人が見本になっていけば子供達はすくすく育っていく。大人が見本になる。
- ・ 教員の話や座って聞く、基本的な文字の読みかきができるように練習しておく等、小学校に入ってからスムーズに学校生活が送れるような訓練をしてほしいです。
- ・ 教職員のレベルアップ。道徳心の向上
- ・ 近くに幼稚園、保育所がなく、親子さんが大変な様です。せめて、幼稚園から小学校低学年の間は、無理なく通学出来る所があるといいですね。
- ・ 兄弟姉妹の少い子供達が多いようですので、同年代の子供達が共に過し遊び等を通じて、社会性(互いの存在を知り、喜びをもって、共に過す体験の)を身につける場を色々な形で提供する。
- ・ 結婚しても共に働く環境故、親が安心して子育て出来る環境作り。
- ・ 現状で良いと思います。
- ・ 個性の尊重、多様化への対応
- ・ 公園～公共の場での子どものマナーを小さい内から学ばせて欲しい。親の教育も—。
- ・ 公園や農園で自然に親しみ、自分達で作物を育て、収穫する喜びを味わせる。祖父母の参観の機会を設け、高齢者を楽しませ、且つ幼児も楽しみ、後々に記憶に残るイベントを催す。
- ・ 公立は、今のままの教育方針でよいのではないか。身体を動かし、いろいろな体験をし、豊かな幼児期だったと感じている。
- ・ 公立保育所・幼稚園を存続させる。市立幼での3才児受け入れ。これをしないのは新制度に反する。教育委員会は市民と対話し、情報をきちんと開示すべき。あまりにも閉鎖的、また強引なやり方に(浜幼廃園、南芦屋浜小学校問題)で驚いた。”芦屋市“を恥ずかしく思う。こんな大人のもとでどんな子が育つか…
- ・ 公立幼稚園の3年保育

- ・ 公立幼稚園の3年保育。3年で通わせたかった為、西宮の私立幼稚園に通わせています
- ・ 行政主導の親に対する教育。※教育を評論しても何もうまれてこない。学校や園にまかせるべきことはまかせて、教育内容に不満を言わないことが大切。教育は環境、教育環境にこそ目をむけるべき。
- ・ 国際社会に向けて、幼児の時から英語を身近に取り入れたカリキュラムを幼稚園、保育園小学校に入っても力をそそいだら
- ・ 今、認可保育所へ預けてますが1歳児のため、特にカリキュラム的なものはないようです。前まで家庭的保育所へ預けていたのですが、日課活動で、歌の時間や体操、本読みなどあり、とても充実しているようでした。そういったカリキュラム的なものがあつたら良いのになと思ってます。
- ・ 今までのような一斉教育ではなくモンテッソーリ教育も取り入れてみてはいかがでしょう
- ・ 三年保育と、英語を導入
- ・ 子どもが未就学児の頃、幼稚園や保育所の園庭開放や子育てサークルをよく利用しました。幼稚園に入園して、お迎えの早さに困りましたが、今は預かり保育もあり、とても良くなっていると感じます。
- ・ 子どもたちに自分を大切にすることを教えることです。このことについて、本アンケートではあまり考慮されていないことが残念です。とても残念です。問12の10のみです
- ・ 子ども達が(いろんな性格・環境も違う…) 生命安全確保を意識し、(身体面も)生活環境をみんなで学び小学校の1年スタートを順調に切れるようにと思います。
- ・ 子供のことをしっかりみれる親をつくるよう教育の場でもそういう行事をつくつたらいいと思う。
- ・ 子供への教育(社会生活でのマナーなど)は子供だけを対象とするのではなく、保護者も対象とし、親のマナー力向上を計ってはいかがでしょう。子は親の背中を見て育つものです。実際、市内での子供をのせた自転車のマナーはひどいものです。
- ・ 子供を信じ、できるだけ同じ目線で物事を見て
- ・ 思いやりや、道徳心は、小さい時に学習し、身につくものだと思いますので、この時期は、勉強よりも、こちらに力を入れて欲しいです。
- ・ 施設の充実
- ・ 私が幼稚園、小学校を通じ、校長先生、園長先生を初め多くの先生方の学校教育、幼稚園教育、そして何よりも子供達に対する愛情、あふれる様な、時には校長先生のお言葉や行動
- ・ 私の散歩道に2つの幼稚園があります。精幼は車で送り迎え、富幼はファッションシーの様な服を着たお母さん方がいました。この様な環境のなかで育った子どもがひとつの集まりになったとき、協調性、協力する事を遊びの中から教えワガママは決してゆるされない態度で教えていただきたい。
- ・ 私立と公立の差が大きすぎる。私立保育園も、もっと、レベルを上げ、保育士が向上していくべき。私立は、子どもをきちんと見ていない。
- ・ 自習習慣をつける
- ・ 自信の子供の時幼稚園時代を思うと大変満足している。
- ・ 自然、動物、植物と接する機会を増やすこと。インターネット上でなく、本物を感じる力、学ぶ力の基礎をつくること。
- ・ 自然の中で五感を育てられる、あたたかな人とふれ合う安定した教育
- ・ 自分の身のまわりのことが小学校に行くまでに出来るようになってほしい。
- ・ 自分自身を守る
- ・ 自由保育と、集団のルールを身につける場のバランスをとりつつ、小学校へ入学してほしいと思います。
- ・ 自立教育等をしたらいいと思う。教会のモンテッソーリ教育の様なのがいい。

- ・ 若い親が子育てを安心してできる環境づくりが必要。
- ・ 若い親に対する子育て相談。子供の家庭環境に注視したきめ細かい指導。
- ・ 主に家庭でも躰
- ・ 就園時間の長い私立幼稚園を選択される家庭が増えていると思う気持ちもわかります。公立幼稚園でも対応していけるべきかと思います。
- ・ 就学前の教育が一番大事だと思います。母親は、働かず子供を見るのが当たり前人まかせはダメだと思います。責任感のある親を育ててほしいです。
- ・ 集団性を身につける大切な時期だと思います。
- ・ 集団生活の大切さ、楽しさを教えて欲しい。命の大切さ
- ・ 女性の社会進出制度を充実した上で、少なくとも就学前までは親が見るべき。
- ・ 小さい子供に遠ざかっていますが現代に合った一番よいと思う、常識のある子に教育望む。
- ・ 小さい内から情操教育を！！親が先ず手本をしめす。挨拶をきちんとする。人の(相手の)立場になって考える(思いやりの心)人をあやめたらいけない！！「鉄はあついうちに打て」を…
- ・ 小学校でやることの先取りとか、英語を学ばせるとか、いろいろいわれていますが大人の勝手に子供を悪くいじるのではなく、やはり子供らしい幸福な生活を保障すべきだと思います。みんなでいろいろな楽しいことを、この時期に経験させておくと、私の経験から言いますと、人生のとても大きな力となって、大人になってからの困難なしごとを心理面でささえてくれるような気がします。私自身、保育園・幼稚園には感謝しています。
- ・ 小学校で他の幼稚園、保育所の子と仲良くできるよう他園との交流
- ・ 職員の負担、労働時間や待遇の向上。ゆとりをもって子どもに接することができるだけで、関係性も教育の質もよくなるはず。形だけの何かを実施するよりそういったことが大切だと思います。
- ・ 親が安心して仕事ができる様に全員が入所、入園出来る様になればと思います。
- ・ 親も子供もお互いに学びあう心。教育は大人が子供にほどこすものとは限らない。怒るとしかるの違いが分かっていない。個性をのばしてやって欲しい
- ・ 親教育が大切。親の責任が低い
- ・ 人とのかかわり方、道徳性を育てる。
- ・ 人を思いやる心をもつ子
- ・ 人を思いやる心を育てる
- ・ 人格形成
- ・ 人生に於て最もすべてを吸収する年令、両親(家庭教育)が大切。保育所の先生とよく相談されること。
- ・ 生活習慣の改善。子ども同志がかかわり合える機会。
- ・ 西山幼稚園での保育内容には大変満足しています。先生方の人柄、姿勢ともにすばらしく、延長保育の制度にも大変助けられました。自分のパート仕事、上の子の学校行事時に使わせてもらいました
- ・ 設定保育を明確にし、子ども達の能力を引き上げる為のカリキュラムの充実。小学校生活へのスムーズな移行ができるような生活習慣の定着。現在、公立幼稚園は私立に比べ、子ども自身の伸びる力まかせな点が多く、教育というより児のレベルである。保育所、公立幼稚園では入学後の生活に問題が多く学習にさまたげになる。
- ・ 善悪の教育。他人と協力し合い1つの物を作り上げる体験を通して、心の教育が大切だと思います。
- ・ 他者を思いやる、心優しい子供に育ててくれるよう、指導者・先生方も温かいまなざしで接して欲しい。活発な子の影にかくれがちなおとなしい子供への気づかひもほしいです。

- ・ 体を動かしたり、絵を描いたり自己表現力
- ・ 待機せずに全員入れる様
- ・ 待機児童(保育所)0へ。自宅から近い場所で入所可能にし、保育時間延長。
- ・ 待機児童の解消、保育所増設
- ・ 待機児童をなくすよう施設の充実。特に保育所(園)の充足。
- ・ 通園時の歩き方のマナーについては、まず親から指導した方が良いのではないかと思えるときがある。園内での指導ではないので難しいと思うが。
- ・ 働くお母さんが増えています。時間が許すなら、出来るだけ、屋外で自然にふれあえる様な機会を作ってほしい。
- ・ 同年代との関わりの場。
- ・ 道徳教育、公衆道徳をしっかり身につけさせる。他人を認める教育
- ・ 道徳性正しい言葉を使っての話し方(日常)を教師が学習してもらいたい。
- ・ 特に、地域のシニアの方々とふれあう機会が多くなればと思う。お散歩に出た時、まわりの大人との会話出来る様、指導者は気をつけたらいいなと感じる。
- ・ 特になし
- ・ 認定こども園の推進
- ・ 認定こども園の充実
- ・ 発達障害を持つ子どもの早期発見、療育の開始
- ・ 不明
- ・ 物を大切に。人を大切にする
- ・ 分からない
- ・ 文字や楽器演奏等、小学校に於ける物を早期にする必要はなく、まずしっかりと遊び人と触れ合わせる事。また多くの小動物への愛情も培うこと。
- ・ 聞いている限りですが現状でいいと思います
- ・ 保育園に子どもを通わせていました。小学校にあがると幼稚園の子との違いは“たし算・ひき算”が出来ること(ひらがな、カタカナetc.)。幼稚園でも教えるところと塾のようなところで習っていた子と色々で、入学時から差がありすぎると先生方もとまどうし、出来る子も出来ない子も学校がおもしろい!とは思えないのでは…?でも、幼稚園なども選べるところが芦屋にはいいのでしょうか…
- ・ 保育園の待機児童を減らすことがまず重要。
- ・ 保育時間中の教育の充実集団生活でのマナーや行動についての充実
- ・ 保育所が、不足しているのかもしれないので、量と質、共に、向上してほしいと思います。
- ・ 保育所でも幼稚園と同様の教育を推進させる
- ・ 保育所の充実で母親の就労支援
- ・ 保育所の充実で母親の就労支援
- ・ 保育所等での教育で個性を伸ばす教育が必要と思います。画一的な教育で標準的な人間をたくさん排出しても芦屋の将来は明るいものにはならない。楽しい人間を多く造り出そう。

- ・ 母親が子供と一緒にいる時間を沢山つくって欲しい。簡単でも手づくりのものを食べさせて欲しい。
- ・ 母親とのふれあい
- ・ 友達と遊ぶことにより心と身体をきたえる。自然に興味を持つ。
- ・ 友達をたくさん作れる環境作りに力を入れていくと良いと思う
- ・ 予算、警備などで難しいかもしれませんが、ルナホールで一年に一度、小さな子供達が喜ぶ人形劇、紙芝居などの催しがあれば元気な子供、障害のある子供の心の教育になると思います。
- ・ 誉めて育てる。まずは誉め、独創性、積極性を育む。直す点があれば、子供が納得出来る様に丁寧に説明し(納得する迄)てあげる。知識よりも情操教育
- ・ 幼、保と小学校との連携。しつけ、社会的モラルを教える。
- ・ 幼い時からおけいごの子供が多く、のびのび外で遊ばせる。毎日絵本の読み聞かせをし、楽しさを身につける。集団生活のスタートで仲間作りをし、いろいろな人を知る。
- ・ 幼児期は、情操教育、又、基本的な体力、集団でのコミュニケーション能力、協調性養えればいいかなと思います。
- ・ 幼稚園での取り組みは全くわかりませんが、小学校に入学した際、幼稚園出身と保育所出身の子の出来る事があまりにも違いおどろきました。着替えすらなかなか出来ないのは、どうかと思います。
- ・ 幼稚園でひらがなが読めて、書けるようにするといい。
- ・ 幼稚園と保育所でかんきょうにとっても差があり、保育所をきぼうする方が多い幼稚園の予算等をふやして、手厚い教育をしてほしい。延長保育短かすぎて働くお母さんが困っている。
- ・ 幼稚園の園児が少ないので幼稚園も工夫する必要がある。時間的にも短かい。子どもを送って行くとすぐに迎えに行かないといけない。低年齢0才、1才の子どもがいると大変。※3年保育必要
- ・ 来園する稚児が仲よく楽しく一日が過せる環境作り、特に全員が一体となって遊び、グループ化しない様に指導していくことが必要。グループ化すると差別が生じる芽となると思う。ただ園児共々の育った環境により園児の考え方も違い、又人の本能より好き嫌いの感情が自然に生じるので難しい点であると思う。
- ・ 両親が、とても仲良くすること。子供は小さい時から、両親を見ているのでとても大切な事であるとする。両親が、他人の事を考えて、行動する事が大切。
- ・ 涼風町に1つほしい。楽しい教育を多く。
- ・ 礼儀、道徳教育これは各家庭に於いて特に両親が暖かく見守って育ててほしい集団生活に入った時、皆と協調出来るような基本を身につける

【市民調査】問32②小中学校における教育

- ・ 「道徳」の教科化、判定化は疑問です。現在、宮川小学校でお世話になっております。先生方は担当学年ではなくとも名前と顔を覚えて下さって、声をかけて下さっているとのこと、子どもから聞いております。子どもたちにとって、尊敬する大人の存在、信頼できる大人の存在は不可欠です。そういう大人で在るかどうかが、日々自身に問い、悩み、乗り越えて、子どもたちと日々共にあることを認識していきたいです。先生方と保護者との間でのやりとりをさらに深く、密にしていければ…願うばかりです。「塾ありき」の態勢にも疑問を感じます。運動会での「組体操」は親を感動させるためのものですか？軍隊を連想させるようなことは参成できません。
- ・ 「命」の大切さを重点的に、折々の機会に伝えていってほしい。学力のレベルアップも大切だが、いじめや不登校児の問題も表面的ではなく、深くつっこんで取り組んでいってほしいです。
- ・ ◎学習力、学力が充分とは見られない子供に対する基礎学力の修得の徹底。
◎これからの世界の国々が、日本の平和憲法の理念のように、互いに武力を用いずに相互の平和を保って生存してゆくにはどのような行動を取れば良いか、共存のための智恵をしぼる習慣を子供の時から考える事、身に付ける教育を行う！
- ・ ・学力、社会力を身につける
・様々な体験学習、運動の充実
- ・ ・小・中学校の時、先生の当たり、外れがすごかった。子供ながら「何この人？」と思ってましたが、大人になって普通の社会ではやっていけない人だろうな、と思います。そういう先生は…それなりの対応をして欲しい。普通だったり、しっかりしてくれてる先生もいっぱいだったので、なおさらそう思う。先生たちの負担が大きくなりすぎないように、外に依頼出来る事はお願い出来たらいいのに。子供と向きあう事に集中できるようにして欲しい。
- ・ ・道徳、情操教育
・良い所をほめ、伸ばしてあげる
・わかり易い授業、学力向上
- ・ ・年長者と年少者が一緒に遊び学ぶ環境作り
・創造力を伸ばす教育
・忍耐力と思いやりを涵養する教育
- ・ ・問題を発見できる能力を育てる
・学ぶことの楽しさを感じ、自ら学びたいと思えるような授業
・学校は社会の縮図であることを勉強以外でも学ぶことがあると気付かせる
- ・ ☆漢字の読み書きと習字
☆インターネットの情報から自分の知りたい情報を正しく知る力をつける
☆英語で話す力をつける(自分の言いたい事を英語で言える力をつける)
- ・ ☆先生方は愛と自信を持って生徒を叱って下さい
☆親、教師はその場で注意(他人の前で大声で叱るのはNG)
①人様にお世話になった時など親(家庭の大人)にその旨伝える
②困った人がいる時、自然に手助けする心を！！
③自分がしてもらったら嬉しいことを人にしてあげられる人に。
④協調性(人のする事を眺めず声かけする)
- ・ 1999年に「日の丸」「君が代」を国旗・国歌とする国旗・国歌法案が成立したので小学校・中学校では国旗掲揚・国歌斉唱は実施すべきである。世間の噂さでは教員がこれを無視しているとの事は問題外である。教員の資格なし、反論があれば私は之を無視する。
- ・ 1クラスに担任1人では難しい状況だと思います。定年された先生方に副担任の様な先生をして頂けるともう少し担任の先生も動きやすいのでは。と思いますし子供達も落ちついて授業が受けられるのではないのでしょうか。
- ・ 1と同様、弱い者いじめは絶対させない教育
- ・ 1に同じ。子供を1人の人間として認めること。子供をよりよい人間として教育する場であるなら、まず自らが変わらなければなるまい

- ・ ①下校時、生徒が騒がしすぎて周囲の住民に迷惑を与えているように感じる。(特に中学生)道徳心が欠如しているのでは！？
- ・ ②最近に先生にも常識が欠如している面もあるように感じる！？
- ・ ③平和とは、命の大切さとは、この面の教育も必要では！？
- ・ 7、9年前に岩園小学校から私立中学へ受験しているので市立中学校の事はわかりません。
- ・ ITや外国語ばかりにとらわれず、基本的な学習を自ら楽しんで行えるような工夫をして頂きたいです。
- ・ IT学習を増やしてほしい。外国語の授業を増やしてほしい。
- ・ IT教育と、国際人となる為の、外国語の習得は必修。働く事の大切さ、講師の区別などの、一人の人間の在り方などの道徳面にも力を入れるべき。
- ・ あいさつ。人を思いやる心。基礎的な学力。身心の健康
- ・ 芦屋市は特に私学に進学する割合が多いと思います。その事にもきちんと対応していくべきだと思います。
- ・ あまり無茶な詰め込み勉強をさせると、暗記型の思考停止人間になってしまうと私たちの若いころは、あらゆるところでよく言われていました。今、やはり暗記主義の思考力の弱い人々が増えているのではないのでしょうか。強い思考力を持つ人が増えれば、今日の難問に満ちた社会を少しでも改善できるような気がします。芦屋の子供達には、ぜひ勉強ができるだけでなく、効果的にものを考えることができる、かしこい人になってほしいと思います。そのための実験、データの蓄積等、長期的な教育研究に期待します。
- ・ 安全な環境
教育者への教育をしつづけること
- ・ いじめ、不登校への取組み、ありきたりの形だけ。もっと親身に。のびのび教室と学校の横の連携が余り取れていない形だけになっている。
- ・ いじめが起きても知らん顔でなく、なにかあってからでは遅いので、常に先生にクラスの状態を知っておいてほしい。
- ・ いじめにあっている子のお母さんから相談を受けた事があり今の教育方針は、いじめた子を諭す事をせず、いじめを受けた子を見守るという事だそうで驚きました。悪い事を悪いと認めさせない。小さい芽をつまないと以前にあった様な悲惨な事件になってからでは遅いのです。
- ・ いじめ防止。
- ・ いじめや人権教育
- ・ いじめや不登校のない又、差別などもない、明るく楽しい学校生活が送れる様な教育を望みます。
- ・ いじめや差別のない教育の充実学力や運動能力を高める教育の充実
- ・ いじめをなくし、しっかりとした人間性の構築を目指した教育。
- ・ いじめをなくす。
- ・ いじめ等をおこす様な環境を作らないでほしい。
- ・ いじめ問題
- ・ 延長あずかりの充実とその時間の有効活用、教育、スポーツetc.
- ・ 大阪・神戸など他地域の現状を学び、足らざる所を補うことが必要。
- ・ 落ちこぼれをなくす努力
- ・ 外国人講師を加えての授業。個々の能力をのばせる少人数の授業。
- ・ 基礎学力アップ。強靱な体力を増進する。芸術や学び場が、清潔で安全で、本物であること(感性豊かな、潤いのあふれる心が育つと思います。)

- ・ 基礎教育の徹底(方程式を確実に叩き込んで欲しい)
やれば出来る
- ・ 給食の導入
放課後の補習授業
- ・ 教師の能力UPと親の認識を高めるための働きかけ。
- ・ 教職員の教育
日教組の解体－学校労働組合化
リタイアした元大学教員等の活用
- ・ クラス全員、学校生徒全員が仲間であり友人となりうることをしっかりと認識させる。自分の痛みは相手の痛みであることを分らせる。労働に学力は努力することに意義がある。
- ・ クラブ活動を積極的に行う環境作り。
- ・ 校区の廃止
- ・ 公立校は教員の質と連携の向上。
- ・ 子供達が信頼を寄せれる担任の先生の育成。
- ・ 子供達がのびのびと出来る教育環境が重要だと思う。
- ・ このままで良いと思う。私学を選ぶ人も多いが、公立校としては良くやっています。
- ・ これからの、ますますの国際化に対処、十分配慮された、一層の学力向上が必要。
- ・ コンピュータに頼る学校教育は子供達の地道な勉学の能力を低下させ、今後の問題ではないかと思っています。それは、頭でっかちの人間を作り、心身共に健康な人生を歩む大人への道を狭くするのではないかといつも案じています。
- ・ 自然(草・花・木)、生き物を大切に、思いやりのある人間になってほしい。
- ・ 思想、信条に関係なく、独立心、判断力、学力等、社会に出て必要な基礎を教えて欲しい。
- ・ 自転車のマナー
- ・ 社会におけるマナー
- ・ 授業のペースを上げて欲しい。
- ・ 塾で勉強する必要のないように土曜日でも小中学校を開放し、先生方も指導にあたってほしい。
- ・ 小学生が家の前を通りますが、朝の挨拶が出来ない子供が多い様に思います。
- ・ 小学校の高学年は、とても大事にして基礎能力を高めておく。
- ・ 情操教育、子供が楽しく学べる授業、専門指導員の講義等
- ・ 自ら考えて、それを相手に伝える力を養う教育
- ・ 私立志向が強すぎる。公立としての良さをアピールしなくては”私立に行けない人”の集まりになってしまう。
- ・ 心技体、バランスのとれた教育方法。
- ・ すべての子供達が平等、公平というのを重点をおかず現実的に広く教えてもよいのでは。コンプレックスを持つ事も大切。特に運動会はおもしろくない。
- ・ 正確な知識の学習と訓練(専門の先生から)特に算、国、理科
- ・ 生命の大切さ。感謝の心。

- ・ 責任感
- ・ 先生の賃をもう少し高めて下さい。
- ・ 専門性の高い教育の実施(個の力を伸ばす教育)
- ・ 体育
- ・ 体力学力向上
- ・ 体力向上
- ・ 体力増進。漢字の書き取り練習。人を思いやる心。協調性。考える力を育む。
- ・ たくさんの方々に出会い、刺激を受けて頑張ろうとしています。皆と助けあい競争もして、仲良くはべんで大きくなって欲しいです
- ・ タブレット端末を使用せず、板書し、鉛筆でノートに記入する。手を動かすことが必要であると思う。世の中が便利すぎると人の心が、悪くなる、育たないと思う。
- ・ 地域の住民活動に積極的に関わるよう学校でも勧めて欲しい。
- ・ 同級生同士を超えた活動が少ないのではないか。
- ・ 登下校時の交通マナーの徹底。
- ・ 道徳教育、体力づくり
- ・ 道徳教育や体験活動の育実。
- ・ 道徳教育をもっと
- ・ 道徳心、倫理社会の勉強させてほしい。
- ・ 読書、体育、英語の3本柱でやる気、元気、根気を身につける。
- ・ 読書をクセづけろ。
- ・ とくに潮見地区だが学力が低すぎる。教職員も、努力している様に見えない。
- ・ 友達と仲よく責任の持てる子供
- ・ 土曜授業を取り入れたら良いのではないかと？平日が忙しくなっていて、遊ぶ機会が奪われていると思う。
- ・ に強く感動した事です。学校教育は愛だと身もちまして感じ、感謝致しております。その様な強い志を持ち、学校教育、幼稚園、中、高教育にたずさわられた多くの先生方に心から感謝と尊敬の念を持っております。
- ・ バスに乗っている中学生(シルバー席、他の優先席)がこの席を使用、横にとっても不自由な方が立っていても席を譲ることをしない。他市のバスもよく利用しますが、芦屋ではこのような学生をよく見かける。
- ・ パソコンと英語力を早くから身に付けた方がよい
- ・ はたらきやすい17時までのあずかり
山手中学校のたてかえ
- ・ 人の気持ちを考えて行動できる心の強さを持つ事の大切さを教えて下さい。多数の意見に流されず、自分の気持ちが正しいと思ったらそれを重点において進んでほしいです。
- ・ ひとりひとりの良さを伸ばす教育に力を入れていただきたい。
- ・ 勉強の仕方を丁寧に教えるべきである。
- ・ 法律や道徳

- ・ ボランティアとして手話あそびをおしえてあげたい。
- ・ まずは先生のメンタル強化。学年の途中で消える先生が多い。子どもの不安が増したり学力の低下につながる
- ・ まだ自分の子供が1歳なので、考えられません。ただ、いじめなどにあわなければ良いのにとってます。
- ・ もっと学力をレベルアップさせて欲しい。
- ・ モラルの教育
- ・ ゆとり教育の復活。ゆとり教育で学力の低下というが、ゆとり教育世代がスポーツ文化等の分野で世界的活躍をしているように成果もあるはず。子供が自由に使える時間を増やすべき。
- ・ 良いことと悪いことの区別を明確にし教育してほしい。
- ・ 芦屋は中学受験をする児童も多く、学力的には優れているように思うので、心の教育、命の教育などにしっかり力を入れると良いと思う。
- ・ 芦屋市の小、中学校の教職員のレベルが低すぎる。幼、小、中学校すべて芦屋の公立校に子供を通わせましたが、特に新人教職員はひどすぎます。常識のなさに驚きました。学習の指導力だけでなく、先生の遅刻、差別うそ、やる気のなさ、体力のなさ等学期途中で病気療養で先生の変更も多い。今後の採用に関しては、慎重に行うべきだと思います。生徒の指導なんて問題外の人が多すぎる。芦屋市、特に山手中学校区は私学受験する子供が多いですが、地域性だけでなく、教育のレベルの低さも原因だと思います。私に小さい子供がいたら、今のままでは私学受験を考えます。
- ・ 暗記だけでなく、考えたり、興味を広げたりする機会を増やすこと。
- ・ 英会話
- ・ 夏休み小学校におけるプール開放が少なく泳げない子供が多くいる様です。自身の命を守る為にも、練習する場をつくってほしい。
- ・ 家庭状況と学力の関係がさわがれています。親の所得が少なくても学習に努力している子は助けるべきです。社会に出てゆくスタートラインに余り差のない様に皆に協力してもらおう。
- ・ 学校として集団の場でしか学べない。道徳教育や体験時間をもっと増やし、自己で考えることができる力をつける。
- ・ 学校と家庭がよく連絡を取り合う必要がある。親が子供の教育の方法を学ぶこと。良い本が多く出版されています。
- ・ 学校間格差、公立中学校はあまりいい話を聞かないので私立受験を考えています。
- ・ 学校給食を、民間に任せるのではなく、きちんと芦屋市で、まかなってほしい。民間は必ず異物混入などの問題がでてくるはず。
- ・ 学習力に差が出てくる中学生にどう対応するかが課題と感じます。学習力がある子は、学校に寝に行く状態になっています。小学校の時から差が出にくくする必要があります。
- ・ 学力向上。不登校児が通えるようにしてほしい
- ・ 学力重点
- ・ 基礎となる学力、体力を養い、個性を伸ばしてほしい。
- ・ 基礎学習の強化
- ・ 基礎学力と同時に、体力づくりに力を入れてほしい。あまりにスマホを見る時間が長かったり、そこでの友人間のトラブルなどについて問題意識を持たせてほしい。
- ・ 基礎学力をしっかり身につける。体力も。道徳教育も大切。集団の中で、皆と協調しながら生きる、生活する事ができないと、社会に出てからなじめない。自分の居る場所をみつけるすべを身に付ける。1つで良いから自信のあるものをみつける。

- ・ 基礎学力をしっかりと付けられるようなカリキュラムを組んでほしいと思います。宿題がたくさんになってもいいと思います。家庭学習の習慣も必要なので。
- ・ 基礎学力をつけさせる。英語教育、国際感覚をつけさせる。道徳教育、他人を認める教育。
- ・ 基本的な学習習慣、知識を身につける。自転車の乗り方交通マナー。SNS等クイクイについて。使う時間帯の制限等
- ・ 基本的な知識をこの時期に習得しておかないと、一生無知な人間になってしまうと思います。進学は人によって異なりますが、義務教育での勉強をしっかり身に付けていると、今後の人生に困ることはないと思います。
- ・ 基本的に運動量が少なすぎます。夏のプールの授業でも、25mを泳ぎきる6年生が何パーセントいますか。自らの命を守る教育と言うなら、守る体力、気力も必要です。危険な事も体験しなければ理解できないと思います。色々な体験も必要ではないでしょうか。
- ・ 義務教育なので、基礎的な知識が身につくようにする事プラスアルファで、給食の時間を利用して食育に力を入れてほしい。
- ・ 給食に、ハーゲンダッツアイスクリームを出す必要は無い。そのお金で、もっと他に出来ることがあるのではないですか。
- ・ 競争社会ですが、他と競争するのでなく自分が自分に打ち勝つ、正しい心持ちを育てて欲しいです。
- ・ 共稼ぎ夫婦が増えていると思うが、小学高学年(4年生以上の)の放課後及び夏休み対策(子供を独りにしている家庭が多いと思う)
- ・ 教育の教育
- ・ 教育も大事だが、私達大人が見本になっていけば子供達はすくすく育っていく。大人が見本になる。
- ・ 教員、特に英語、算数(数学)、理科の教育の専門性の向上。塾に負けているようでは話にならない。学外教育活動(史跡見学、物作り現場見学、芸術鑑賞など)の充実。
- ・ 教員の指導力、魅力的な授業力の向上が必要。外国語教育での専科教員の設置。(ネイティブの教員)(低学年からの外国語導入)1クラスの定員を少なめにする等、教員と子どもの距離が近く目が行き届く環境を望む。国の教育指針ととられず、市独自の特色ある教育方針を発信してほしい。(学習だけでなく、生活面でも)
- ・ 教員の質の向上
- ・ 教員の数が少ない。人クラスの人数が多い。教員にはクラブ活動などの業務外もしくは専門外のことを求めるべきではない。また、過剰に部活動などに対して入れこむ風土はよくないと思う
- ・ 教員の専門性の向上と特別支援教育についての知識、少人数のクラス、先生の雑用を減らす
- ・ 教員の負担軽減。授業、指導に専念できる環境づくり。教育ニーズ多様化への対応。国際化、理系専科(市単独では無理でしょうが。)フリースクールの拡充。個性を伸ばす教育の実施。技術家庭科の拡充など
- ・ 教師によるいじめをまずやめさせること。教師の態度を子供は良く見ている事を自覚して仕事をする事。
- ・ 教師の研修などの充実全国の学校と比較して良いところをとり入れるなど教師の自覚の発掘
- ・ 教師の指導力
- ・ 教師の指導力の低下
- ・ 携帯電話の普及によりいじめも陰湿化しているように思います。自分と違うものは受け入れない、今の中学生は仲間はずれにならないようにするのに必死な感じです。もっと他者も認めるようになれば、皆が楽しく過ごせるのに。と思います。
- ・ 経済的な格差によって小中学生の受ける教育に差がないよう(例えばボランティアを利用して無料塾を作るとか)支援できたらと思います。
- ・ 決められている事を守る教育。交通ルールや歩きスマホやチャリンコスマホを止めるとか。近道行動はしない

- ・ 嫌な事はしないという傾向が多分に見受けられます。義務教育なので多少は無理矢理にでも物事に取り組みさせるということが必要なのではないのでしょうか。
- ・ 見ていると体力不足の子供と健康体との差を感じる事がある
- ・ 現状の様なPTA活動は廃止すべき。教員、親の負担に対して、効果がわからない。満足しているという意見もマスターベーションにしか聞こえない。
- ・ 個性を伸ばす教育。命の尊さを学ぶ。思いやりの心を育てる。社会性を身につける。
- ・ 公共機関における一般的マナー乗降車の気持ちがわからない。
- ・ 公立小学校の先生方がいそがしすぎて気の毒でした。いろんな子供、親がいるのに40人クラスでした。今は少し減っているのでしょうか。教員の時間の確保が必要と思います。
- ・ 公立中は分からないが、なぜかいい話を聞かず、公立だから仕方がない、嫌なら中学受験すればいいと聞く。そう言われてしまう何かが公立中にあるのではないだろうか。中学生の親から参考のためにいろいろ聞くが、公立中もいいよ、と言ってくれる人が一人もおらず、不安である。公立小に関しては、うちの子は、よく見てもらっていて、先生方には感謝している。
- ・ 好奇心がわく何でも興味をもてる教育
- ・ 国際化の時代、語学教育
- ・ 国際的な視野を持って考えることが出来る人材を育てるために、世界情勢・英語など多言語に対する苦手意識を持たないような教育。
- ・ 今はわかりませんが一時先生の仕事や仕事以外の事も生徒の親から押しつけられることが多いと聞いた事がありました。道徳教育は家族で小さい時からこれは「しつけ」と言います。そして学校は勉強を生徒に教え学校で道徳を逸脱した時は学校側が注意する、それを生徒の親会が学校に圧力を掛ける様なことがあってはならないと思う。
- ・ 阪神間は、古くから私学教育が盛んな地域で、家庭が公教育に期待することが、あまりない環境であったが、共働きの家庭が増えた昨今、親が学校に安心して子供の教育を任せられ、中程度の私学なら、通塾しなくても合格出来る程度の学力をつけてやる事で家庭の負担を減らし、その余裕で子供との関わりを増やし、人間教育を親がする様にもって行くべきである。
- ・ 山手小での教育内容にも現在満足しています。上の子を見ていて、コンピューターで調べてレポートを完成させる能力が中学で非常に大事なので早いうちにIC教育を行いタブレット学習などを取り入れてもらえると嬉しいです。
- ・ 山手中学生道いっぱいひろがり、車の通りをさまたげており、態度が非常に悪い。まずは社会人としてのルール・マナーをきちんと教えてほしい。
- ・ 子どもたちの道徳心、ボランティア精神を育てる教育。人権尊重の共生の心をはぐくむ教育。お年寄りとのふれ合い
- ・ 子どもの学力向上に向け、教育水準を上げる必要があると感じます。塾に通う児童とそうでない児童とでは大きな学力の差があると感じます。
- ・ 子ども同士の思いやりと、仲間意識を持つ事の大切さ。友達のサインに気付けるコミュニケーション。
- ・ 子供2人を市内で教育受け、今はもうそれぞれ独立社会人となっておりますので最近の現状はよく知りませんが、塾や習い事で忙しい子供が多く又、のびのび過ごせる場所も少ないように思います。公共教育がしっかりすれば塾通いも減少するのでは。
- ・ 子供が学校に行く前と帰ってきた時は家にいるようにして欲しい。いってらっしゃい、おかえりなさい
- ・ 私の子供は帰国子女で英語がペラペラだが、小学校の時、それだけでキモいと言われひどいイジメにあった。一度キモいと言われると卒業まで続き、以来、市立小学校は信頼していない。中学は私学に行ったが、貴重な友人もたくさんできて良かったと満足している。今思えば一番楽しいはずの子供時代につらい思いをがまんさせたことを後悔している。とにかく最低だった。
- ・ 私の周りでは、市外の私学へ進学を希望する方が元来多いです。やはり大学進学まで考えるとやはり市内では選択肢が少ないのではないのでしょうか。先を考えた教育を企画していくべきではないのでしょうか。

- ・ 私立の小学校と公立の小学校の先生のレベル？違いの大きさに驚きました。芦屋には私立小～がない？と思いますが、小学校の時から宿題の圧倒的量の違いが先生によってだったり、同学年でも差がある。先生も「きっちり」されてる。先生がなめられるとモンスターペアレンツが出てくるので、小学生の時から“学べる事への感謝”の気持ちを親・先生方への感謝を教えてあげてほしい。親・先生方を尊敬させる教育。
- ・ 自己中心でなく、他の人を思いやる精神を特に身につけてほしい。先生の目の届かない校外での児童、生徒の行儀の悪い子供たちが目立つ
- ・ 自転車の乗り方のマナーやルールをたくさん指導してほしいです。怖い場面をよく見かけます。ウォークマンを聞きながらの無茶な渡り方をよく見ます。
- ・ 自分で考えて行動が出来ること。自立
- ・ 自分を大切に、生きる力を育てる。その次に学力向上。
- ・ 自由には責任と義務が伴うことが忘れられているように思います。また関係ないですが盲導犬にちよっかいを出したり困っている人を見ぬふりして通り過ぎる生徒さんが多いです。
- ・ 実験、グループでのディスカッション、等、体験、感動の共有を実現できる教育。ものづくり(生産)の喜びに接する教育。
- ・ 社会人の自覚養成。(道徳教育強化)
- ・ 習熟度(理解度)別のクラスが設けられているのは良い試みだと思うが、下のクラスでもまだレベルに差があり、結局理解できていないこともあるようだ。英語の新学習システムも従来のLLとの違いが見えず、英語の学習向上につなまっているのか、他に有効な方法はないのかと思う。
- ・ 習熟度別の個別教育の拡充
- ・ 集団登校の様子を見ている、きちんと歩けていない。もう少し、とうかかなりの指導が必要ですね。一事が万事で他のこともいろいろ指導すべき点があると思います。
- ・ 塾などに通う必要があまりない様にしてほしい。
- ・ 塾に行ける子と行けない子とでは学力にかなりの差がついてしまうので、家庭環境で塾に行けない子にも放課後に先生から宿題等を教えてもらえるような機会があればいいと思います。
- ・ 出来る子を積極的に育てること。勉強したくない子、勉強の嫌いな子はまわりからいくら言っても効果はない
- ・ 女性教師の言葉使いが余りにもひど過ぎて聞くに耐えない。児童に向かってアホタレ、バカタレ他
- ・ 将来娘がお世話になる予定なのに、何の情報も入ってくることがなく未知の世界です。今の子供達の様子等知りたいです。
- ・ 小さい子供に遠ざかっていますが現代に合った一番よいと思う、常識のある子に教育望む。
- ・ 小学校6年生の子を持つ親ですが、1クラスの人数が多いと思う。国の基準にしばられず芦屋市で、予算を組み、もう少し先生が1人1人に目を配れる様にすべき。学習格差があるので、できる子もできない子も面白くないと思う
- ・ 小学校では子ども達が、それぞれ自分に自信を持てることをいっぱい見つけてあげること。それは中学校より、小学校での6年間で大切だと思います。質の高い教師が必要かと思っています。
- ・ 小学校は、先生方が、がんばっておられる姿に、いつも感謝の気持ちでいっぱいでした。満足しています。中学は、私立なのでわかりません。
- ・ 少しPTAを頼りすぎでは。と感じます。他県で小学生時代を過ごしたので、部活が無く、代わりにPTAがコミスクを運営しているのを見て驚きました。また、小学校でのPTA活動ですが、ボランティアというには負担が大きく、役員と会員の不公平感もあるようですのでいっその事、賃金を払えばよいと思います。
- ・ 少人数、習得別授業の充実。教員の充足(特に産休や病気休みの教員が出ることを見越した人配)
- ・ 障害児への適切な指導を望みます。基礎、基本の学力をしっかり定着させる。教師、本来の仕事に集中させる環境を整える。現在はあまりにも多くの仕事をかかえて、子どもと向き合う時間が少なすぎる。

- ・ 上記と同じ勉強より人としてすばらしい人になる事がすぐむずかしい。すぐ人を刺したりしない勝手でない子にする
- ・ 上同文、困った事があつたら誰か信用おける人に相談する。(SOS、専用Tellに)自殺は絶対にだめ!!(そのままの状態でもそのままのこのので…と云う事を聞きましたので。)その勇気があるなら乗り越えられる。
- ・ 職員の負担や労働時間を減らして、ゆとりを持って学生に接することができるようになることが大事だと思います。今より職員に負担をかけることをするなんて論外。
- ・ 食育、社会性
- ・ 親が子を見る時間を増やす。一緒に何かをしたり、子供をしっかりみて良いこと悪いことを親から指導させる。
- ・ 親の考えに対してあまりにも真面目に対応されていると思います。親にもいろいろな人がおり、個性の強い人、声の大きい人に流されないよう頑張ってください。厳しいことも重要です。
- ・ 親は子供を家庭内で守り教育するべき。学校は親がどんなおしえをしているか把握するべき。子供は親に一日の出来事を話すべきで絆を持つ
- ・ 人に対してのことば使い、ことばがすぐみだれていると思う。特に女の子の言葉使いが気になる。スマホ他の使用のしかた、マナー。
- ・ 人の命の大切さ、個人をそれぞれが認めあい尊重出来る教育、人と接する事の大切さ。
- ・ 人の命を大切に教育
- ・ 人格形成
- ・ 人権・平和教育は大切。国際化の原点であると思う。特にこのアンケートの中に「平和教育」という文字がなかったことにつきます。特に高齢者の中におられる色々な体験をされた方を語り部として、活用できるような取り組みを考えて欲しい。
- ・ 人生で一番大切なそして将来に希望を持てる子供であるべきだと思う。
- ・ 生る力を身につける為に基礎学力を十分につける。毎日の集団生活の中で、切磋琢磨できる環境づくりをする。
- ・ 西宮、神戸に比べ、体力向上の取り組みが遅れていると感じる。マラソン大会を実施し、市内で競わせる。その為に練習することで体力向上につながる。水泳なわとびについても、各学年の達成目標を決める。できなくてもいいではなく、目標達成に皆で向かう。できる子は認める。できることはたくさんありそうです。
- ・ 先生による能力の差が大きいので、先生の能力を底上げに欲しい。持つ学年によって要求される能力は変わると思います。
- ・ 先生の質により教育のしかたに差がありすぎる。若い先生のフォロー等市の方で進めてほしい。
- ・ 先生方が父兄に怯えすぎ、妥協すぎのように思います。もっと自信を持たれたらいいと思います。
- ・ 先生方の残業や休日の仕事等、少しでも負担を少なくした方が子供たちに直接向かい合う時間が増やせると思います。
- ・ 先日、毎日続けている、早朝ウォーキング中、高座の滝手前で高校生の自殺現場に遭遇して、ショックを受けました。自分の命、人の命の大切さを、小中の間にしっかり教えて頂きたいですね。宗教家の人をお招きしたりして。
- ・ 先日テレビで灘高の「銀のさじ」の授業を見ました。この様な教育を受けた生徒は幸せだったと思います。勉強の仕方をおぼえることが大切だと思いました。
- ・ 全ての子ども達が楽しく学校に登校出来る様に、いじめなどのトラブルが発生しない学校教育を新入学時から目指して頂きたいと思います。
- ・ 相手の身になって考えられる心を育てたい
- ・ 相手をうけ入れる■、相手もうけ入れてくれる。相手は鏡
- ・ 総合活動を増やしてほしい。よさこいとか
- ・ 他人を思いやる心

- ・ 他人を認められる、協調性を育てる事がいじめ防止にもつながると思います。意見を言いあう時間や、ディスカッション等もっと取り入れると良いと思います。
- ・ 他人を認める
- ・ 体力の向上
- ・ 体力の増強と、積極性を身に付ける。市外活動も積極的に行うべき。当然施設も充実しないといけない。例えば、競技場の充実など。
- ・ 体力向上
- ・ 大原町は、小学校を山手か岩園、好きな学校を選べる様ですが、町としてのまとまりに欠け、子供達も一体感がありません。ちょっと違和感があります。
- ・ 大人の見えない所での子供の姿をどうとらえるか先生も大変だと思うが、工夫が大切。いじめは許されない。でも子供はいじめと聞いていない人の教育が必要。
- ・ 団地内を大声で走り回るな。
- ・ 知らない人に声をかけられたら逃げろ。本当にコンビニがどこかたずねたのに不審者が扱い。翌日の県警メールに載ってしまった。油断できない日常になったのは悲しいが、我々まで悪者にされるなんてもっと悲しい。
- ・ 地域のマナーについての指導を具体的にすべきです。マンション駐車場でのボール遊びの危険性、他人の駐車場に入り、フェンスこえていくなどの不法侵入について。山手小の小2か小3年生
- ・ 中学の給食。関係ないかもしれませんが、中学校まで医療費の無料。みんな西宮にひっこしてます
- ・ 中学校が遠すぎる(山中)バス増便など交通手段を増やしてほしい。給食を早く初めてほしい
- ・ 中学校に専任の司書教諭を置いていただきたい。芦屋は小学校の図書室は充実しているのに中学校で生徒が本を読む楽しさを感じる工夫があまりないように思います。
- ・ 中学校のクラブ活動の種類が少なすぎる。担当できる先生が少ないのなら外部からお願いをして来てもらう等して種類を増やしてほしい。
- ・ 中学校までは義務教育なので、卒業時には最低限の現実的な社会常識を身につけるべきだと思います。例えば「ローンで物を買ったら、金利がどれくらいについて余計にいくら払わなければならないのか」「親が働いていることによって、今生活できている」など。
- ・ 中学受験をする方がとても多いと思うので、公立中学校に入学した時のメリット等がしっかりとわかると良いと思います。
- ・ 中学生になると身体的にも勉学にも差が大きくなると思うので新しい友達のグループが出来ると色々なことが話せるのでよいと思います
- ・ 中学生になればどんな本でも良いから読書するよう指導すべき。(将来絶対に役立つ！)
- ・ 鉄は熱いうちに打たねばならない。良い事、悪い事の区別、良い事をすればほめる、悪い事をすればしかる。人に迷惑をかける事はしない。人として守るべき事をきちんと守れる子供に育てるべき。家庭の教育が基礎である。ゆとりの教育は完全に止めて、小、中学校では基礎学力を確実に身に付けさせねばいけない。幼児、児童教育はその人の一生、また将来の■■■の値にもかかわってくる。道徳の基礎、学力の基礎を確かなものとするべきである。英語教育は止めて、■語教育を充実させるべし。英語は必要に応じて勉強すれば何とでもなる。■語教育は全ての科目の基礎である。大学の文学部見直しは必要であるが、充実のための見直しをすべき。ちなみに筆者は薬学部である。
- ・ 道徳
- ・ 道徳教育(人間として社会に生きるため最低必要な社会的ルール)を教えること。入学前に親より「やりたくない事はやらなくてよい」と他人の迷惑も考えず、自由に行動すること教え込まれた生徒の教育は大変である。この考え方を直す社会性を修得する教育を求めろ。当然一部の父兄の反発はあろうが行うこと。当然学力の向上は必要。
- ・ 道徳教育に力を入れて頂きたい。この時期に人として、どうあるべきか。をしっかりと、身につけさせる。自立心を育む。

- ・ 特になし
- ・ 特に意見はありません。地域の小、中学校の先生は、いつもがんばって子供達をみて下さっているようです。
- ・ 読み書きをしっかりと教えて下さい
親、先生を敬う心
スマホを見ながらの歩行や自転運転の危険(高学年に多く見られます)
- ・ 読書の習慣。作文や川柳づくりetc. を通じて考える力、表現する力を伸ばしたい。
- ・ 日本の歴史、特に近・現代における負の側面を含む歴史を教び、国の進む方向を何故、どこで間違えたか、将来をどう考えるか等を判断できる人間を育てる基礎を作ること。
- ・ 発達障害や学習障害など主に軽度のグレーゾーンの子供が学校で適切な支援を受けられるように専門性の高い教師が増えると良いと思う。
- ・ 不明
- ・ 部活動の充実。ボランティアで卓球の指導をしたりするが、精道中学校は卓球部がない為、続けられないケースが多い。山手、潮見中はたくさん部員がいるか、是非卓球部を作ってほしい。
- ・ 偏差値に重きをおいた教育より、色々な事に疑問を持ち、考える習慣を身につける教育が将来のためになると思います。
- ・ 保護者の対応に重点を起さすぎだと思えます。先生が保護者に過度に気を使う事は子供に悪影響だと思えます。保護者も先生に注文をつけすぎているように思い、悪循環を感じます。
- ・ 忙しく、その時間がない。だから、教育者に教育をお願いするのだが、教育者は教育者を止めた方がよい。
- ・ 毎日のようにいじめのニュース。この時期の子供達の心と体の成長は急で、対応が遅れがち。もっと家庭もしっかりしないとイケないと思えます。小・中は学力、シンプルに読み、書き、計算です。これがしっかりできていけば人間生きていけると思えますので。
- ・ 娘が小学校時代、教頭先生に朝の挨拶の時
- ・ 命の大切さ。いじめの怖さ、友達の大切さ
- ・ 友達とのびのびと遊びを楽しむことにより他人の痛みが分かり、思いやりを持って人に接し、また人間としてのマナー(道徳心、公共心を含めて)をしっかり身につけること。
- ・ 予習・復習のあり方と、勉強への姿勢づくり。又、人それぞれの得意面の見出し、方向づけ教育指導。
- ・ 涼風町近く、15分ぐらいに1つほしい。大学受験対応の教育を。不要教育はカット。健康教育は、必須に。
- ・ 歴史、特に日本の近代史を重要科目として取り組むべき。韓国、中国との良好かつ正しい認識を持ち合う関係作りが大切と思う。戦後日本がいかに平和と民主主義を尊んできたか系統立てて教えるべき。

【市民調査】問32③地域における教育

- ・安全
 - ・家族で参加出来るイベント
 - ・高齢者のかたが地域の何かしらのイベントに参加出来るような。。。
- ・屋内外を問わず、老若男女が和やかに触れ合う環境作りと教育
- ・学年を越えた高学年による低学年のお世話
 - ・家族同志の参加行事等企画
- ・大人が手本となる行動を取る
 - ・子ども1人で行動させない
- ・低学年の子供の遊び友達が居ない。子供が可愛想に思う。
 - ・芦屋は子供達の遊びの場(公園等)が少なく、あっても狭少で十分な運動が出来ない。特に2号線から北側は要求度が高い。
- ・5から6年前に比べると夏休みなども、いろいろな催し(ラジオ体操、星観察など)を地域の方が開いて下さり良い事だと思っています。子供が、小学生の時にあればよかったなと残念に思っています。
- ・あいさつ。声かけ
- ・あいさつなど基本的なマナー身につけてほしい。マンションの住民で敷地内で会ってもあいさつを返さない子供が増えている。
- ・芦屋市長が実施している「市民と市長の集会所トーク」(夜7:30⇒9:00)を見做って市民と学校長・教頭の集会所トークを行えば良いと思います。
- ・余り関心が無い
- ・あまりわかりません。
- ・あまり口出しせず、温かい目で見守って頂き、声を掛けるべきところだけ声を掛けて子供達が安全に安心して生活できるようにして頂きたく思います。
 - ・普通の子達のことも見て下さい。皆自分を認めてもらい伸びると思います。
- ・安全な環境
 - 教育者への教育をしつづけること
- ・一町一集会所設置し、年配(輩)者と子供との交流を(囲碁、将棋他)
- ・いつでも、どこでも、だれでも学習できる環境を。
- ・いつも温い眼指で見守る。自分の子供か孫のように広い心を持ち接してやる。
- ・異年令の世代との交流
- ・大人が子供の見本となれるように。
- ・大人世代とのふれあい、地域でのミニ運動会とかピクニックとか。老人施設への訪問(遊びにいく感覚で)
- ・大人も含め、子育てに対し地域としての取組が少ない様に思える。
- ・親が人と仲良くする事を学んでほしい。
- ・お祭りや運動会など、地域の子どもと大人がコミュニケーションを取れるような場を増やしてほしいです。
- ・お母さん方が、道の角で登校指導をしている姿を見かけます。ここがスタート、企業とかにも呼びかけて街の清掃活動をするとか、全校でもそういう活動を始めれば良いと思います。何かするという事は大変だと思いますが。
- ・学校外の大人との学びの場をもつこと。

- ・ 基本的なあいさつから行う。
- ・ 教師がもっと勉強して子供を指導して欲しい。
- ・ 近所づきあい、見守り、助けあい。
- ・ 近隣の人に挨拶ができるようこちらから挨拶していく。
- ・ 高齢者の為、子供の教育、地域の行事にはあまり情報にふれないので解答が充分ではありません。
- ・ 子どもが安心して過ごせる地域づくりが大切である。
- ・ 子ども会の充実
- ・ 子供会や地域のイベントに積極的に参加出来る様な状態が望ましいと思います。
- ・ 子どもとかかわった時に知りえた個人情報等が他にもれないことを約束して下さい。子供が大きくなり正しい心を持って進んでいけなくなるとは悲しいです。
- ・ 子供と接する機会を作り、顔見知りになる場所づくり。
- ・ 子どもと地域全体で育てるとりくみ
- ・ 子どもに「ここに行けば楽しい、安心する」という場所の提供。子どもが遊ぶ場所がない。(ボール遊び禁止など)長期休暇中の子どもの居場所がない！！(子どもが一人留守番になってしまう。)
- ・ この地域は地域活動をするには都会すぎという感がぬぐえません。
- ・ コミュニティスクール
- ・ コミュニティスクールの充実。教える人の人材確保。地域の人と生徒交流する場をつくる。
- ・ サッカークラブの充実。芦屋選抜「芦屋FC」の創立。
- ・ 昨今、様々な事件があり、子どもたちに気軽に声をかけることもしにくくなりました。何とかして地域として見守っていきたいのですが。
- ・ 様々な人と触れ合う機会を創出すること。
- ・ 残念ながら子供さんと接することが全くありません。少しでも話をする機会がありましたらまず、元気にあいさつをしようと思います。
- ・ シニアの活用
- ・ 市民活動への参加
- ・ 就学前の子供が参加できるような講習会などをもっと作ってほしいです。
- ・ 集団行動(団結:話し合い)
- ・ 新聞を取っていない家には広報紙が入らないため、情報がわからない。せめて広報紙全戸配布してほしい(学校が何をしているかわからない)
- ・ スポーツを通しての交流
- ・ 清潔な街、きちんとした大人が手本となる。
- ・ せめて同じ地域の人とあいさつくらいできる様に。会った時に話ができる地域の人を増やすには、地域の人が集まる機会を増やす。
- ・ そんな事より、東灘区の住吉川のように芦屋川もランニング出来るように整備してほしい。草ばっかで汚い。
- ・ 互いに認め合い共生にゆく

- ・ 楽しく手話サークルを作りたい。
- ・ だんじり等の地域をあげての活動をそのまま増やし、地域内でのきずなを強めていくことが大切だと思います。
- ・ 地域に於いてどのような分野でどのような指導者が居るのか、市内で情報を共有したい。
- ・ 地域の公民館で勉強会等の開催を進めて欲しい。子供達にもっと興味を持つ事が重要だと思う。
- ・ 小さい子に対する目線がきびしすぎる。もう少しあたたかく見守ってほしい。
- ・ できるだけ親子で一緒に参加しやすいような行事等の計画をし、町内で顔見知りを増やし、声をかけやすい町づくりをしていく。
- ・ 特になし
- ・ 図書館(公共)を使用した教育。
- ・ 仲よし友達
- ・ なし
- ・ 年配者との交流。子供が間違っただけをしっかりと注意をし、それを親が批判しないこと。
- ・ 文化の教育を追求する。
- ・ ボランティアとして授業の補助、外国人の子どもの支援
- ・ 街の景観、通学路の安全に配慮し教育環境を整える。
- ・ マンションの老人独居者が増加している現状に対する対応策等について勉強会を開催すべき。
- ・ 皆と協調して正しい教育
- ・ 見まわりとか声かけも大事だが、外灯とかも充実する。
- ・ 民間施設との連携を推進し、援助した方がより多くの子どものサポートにつながるのではないかと思います。
- ・ みんなが誰かに関心と責任をもつ。
- ・ もっと、地域の力を教育に利用すべきである。
- ・ やりたい人になにかをさせるのはいいかもしれませんが、余裕のない人に負担になるようなことはやめて欲しい。何かするよりいらぬものを減らすことを考えて欲しい。
- ・ 隣人愛
- ・ 老人保健施設や保育所など、福祉に貢献する徳性を得る。畑(農家)や海で漁業、産業や飲食店など芦屋で働く方々の姿を見る、学ぶ。
- ・ 老若男女、ふれ合う場、機会を何らかの形でどんどん持つようにすればいいと思う。
- ・ わが家は月若町ですが、高校生と思われる学生が月極め駐車場に無断で入り、隠れて喫煙しています。怖くて注意できません。
- ・ わからない
- ・ わからない
- ・ 挨拶、声かけを増やし、子どもたちの良い行いを学校に知らせる。ーその為に専用のダイヤルを設けてほしい。
- ・ 挨拶などのマナー

- ・ 芦屋ですと育って36年ですが、大分変わったと親(70代)は言います…。「公演は静かに遊ぶ場所」になっていると聞いて親は怒っていますが、でもそれを言ってるのが私達の親世代。この年代の人達は意外と子育て中の若者を暖かい目で見てません。その方達が私達を育てた時代ともう違います。女の人も働いています。この年代の方がもっと今の若者とコミュニケーションをとるべき！！
- ・ 芦屋の素晴らしい自然を皆で大切に教育。掃除など芦屋川の周りでは大人の人もしているので良い見本になっていると思う。
- ・ 芦屋は、といっても2号線以南ですが、定年退職された方が見守りパトロールや地域活動をととても頑張ってるので、とても有り難いと感じます。子どもの成長にも良い影響を与えて下さるので、負担にならない程度で関わっていただけたらと思います。
- ・ 芦屋は私立で他地域に通わせている人が多いので地域の結びつきが弱いように感じました。親の意識が大切です
- ・ 芦屋市に居住していても、私立の学校へ通学している家庭が多く、同じ年頃の子供がいても、コミスクの参加もなく、ゴミステーションで挨拶すらできない家庭があり残念です。図書館(本館)スポーツ施設など浜の方に多く、子供だけでは、利用できなかった(送り迎えが要る)思いがあります。子供が学生時代図書館に自習スペースがないと言って、西北の図書館へ通っていました。今もないのでしょうか。
- ・ 芦屋市のコミュニティスクールはとても熱心でとても良いと思います。できれば小学校内のコミスクはそろそろ1つにまとまると家庭から忙しい保護者の参加も増えるのではないかと思います
- ・ 安心して外出や遊びが出来るよう、公園等の見通しをよくしておき、大人への見守り要請。
- ・ 安全管理
- ・ 一時知らない人には、声をかけない風潮があった様に思いますが、知らない人にも挨拶がはっきり出来る子供達であって欲しいと思います。
- ・ 一年に一度、芦屋市内で同種類のイベントを開き、地域ごとに大人と子供が楽しめる日があれば心の教育に結び付くと思います。年を重ねる内にどこの地域がこんな風に素敵なイベント…をと名の上がる地域が出て、皆、頑張って企画する様になるかもしれません。
- ・ 英語は思っている以上にこれから重要になり、格差が生まれ、将来欠かせないものになると感じます。気軽に通える英語サークル、英語村、市による英語推奨などあれば関心が高まるのではないのでしょうか。
- ・ 何かあったら、声をかけられるような自分でありたいし、子供達にも見守られている事を感じとってほしいです。
- ・ 何がやれるでしょう。
- ・ 何か市に質問すると回答までに時間がかかり、他の手を考え、あきらめてしまいます。もう少し個人に寄りそった対応を望みます。
- ・ 何でもお金を出せば、手に入る時代ですがその物の出来るまでの大勢の人の労力を思い感謝する
- ・ 家が公演の横にあるので、子供達の動向がよく見えます。一緒に遊んだり庭に咲いた花を見てもらったり、そんな触れ合いを通じて、私も、教えたり教わったりが出来て、嬉しいです。今、この地域に住んで幸せに思います。
- ・ 家族ぐるみで知り合う機会をつくり助け合うこと。
- ・ 家庭や学校だけでは子どもたち同士のトラブルや問題点に気付けないで、思わぬ事件が起きてしまうケースが増えているように思います。そのため、地域で親・子どもの様子をもっと注意・関心を寄せていく事が大事だと思います。
- ・ 外部指導者の強化
- ・ 各町の自治会の中に小中学校が参加できるプログラムがあればと思います。
- ・ 核家族化又は、1人っ子の家族が増えているので(母子、父子家庭を含める)、様々な世代の人達と交流できる場を提供する。
- ・ 核家庭になり、それぞれの生活環境が違うので、地域における教育は重要になってくると思います。留守家庭の子供達が安心して過ごせる場所(保護者が帰宅するまで)が必要かと感じます。

- ・ 学校の図書室を開放する日を実現してほしい。
- ・ 学校を開放し、保護者だけでなく、地域の人々に運営や行事に協力してもらい、良い意見はどんどん取り込んでいく。教育は学校だけでなく地域で行うものという意識が必要。
- ・ 学校周辺の家には行事予定をちらしなどでいいので知らせてほしい。運動会の練習などを騒音だとはいわないが、予定を前もって知っているとな納得できるし、子どもたちにも声がけできる。通学している子どもがいなくても行事を見学、参加することができる、地域との関わりが深まると思う。
- ・ 学校側の体制、しくみ、考え方、体質を改めることが地域を動かす原動力だと知って欲しい。
- ・ 季節の行事、おそうじなど、一緒に楽しむ
- ・ 協力して地域が活動できる場をいかに人に声かけすればやっていけるか
- ・ 教える場
- ・ 教育ではないですが孫が山手に通学しておりますが舗道が整備されてない為非常に危ない。一日も早く通学が安全に出来る様をお願いしたい。
- ・ 教育も大切と思うが喜びの出る様な教育と健康体を作るのが第一と思う此頃である
- ・ 教育施設の充実
- ・ 見守り
- ・ 現状は子供達に声をかけると不審者扱いされたり、親が子供にその様に教えていることも、地域で接することの妨げになっている。
- ・ 現代では、母親も外に働く様になって随分になります。もっと地域を巻き込んで子供達を見るシステムを作ると、働く親は安心なのは。
- ・ 孤老、障害者、貧困者などに対する積極的な対応情報の共有化の必要性。個人情報云々といった言い方は無責任に通じる。
- ・ 互いの違いを知り、互いを等しく尊重する場を、考えを大人を含めて作る。
- ・ 公園等で、水道で遊ぶ子供など近くに行き水の無駄使いなど注意致します。素直な子供は、はいと気持ちいい返事します。自転車遊びも、気を付ける様、大きな声で注意致します。親御さんのしつけが大事です。
- ・ 公園等の遊び方に規制をかけすぎている様に思える。もっと自由にのびのびと遊べる環境を。
- ・ 公共の場での人としてのモラル、ルールを自覚多くの人達と接する機会を作る。
- ・ 高齢者が地域に多くなってきます。横のつながりを深める交流に力を入れ、そのつながりをたてに繁栄する事柄を考えていっていただく。
- ・ 高齢者に対しての生きがいとなるような学習環境を増やして欲しい。
- ・ 高齢者は、積極的に教育に参加する必要性を高める。
- ・ 今の社会は疎遠で、どこにどんな子供がいるかもわからない状況です。昔のようにはできないと思いますが、地域の子供と多く接する機会を増やし、地域力が子供達の成長の一助になればと思います。
- ・ 最近、大人も社会一般のマナーが低下しています。まず大人が手本を示す必要も感じます。
- ・ 最近では危険なことや信じられないことがいろいろ起こり、子供を見守るといってもむずかしくなっていると感じている。
- ・ 最近では道ですれちがう子供達に声をかけにくい(不審者…)街全体で大人も子どももあいさつをかわすようになればと思うのですが…ある県を訪ねた時、下校時の子ども達から「ただいま」と声をかけられ気持ち良かったです。
- ・ 子どもがいないと教育にかかわる機会がほとんどありません。特に子どものことになると子どものいない人にはわからないと言われつつづけてきました。もっと子どもはみんなの財産という考えがほしいです。

- ・ 子どもたちの安全を見守る。学校、地域、警察との連携の取組。
- ・ 子どもたちを出来る範囲で見守って行きたい。
- ・ 子どもに関心を持ち、あいさつをする。いけないことをしていたら注意する、など。
- ・ 子ども会の活性化
- ・ 子ども会の充実。体験して自ら考える力を伸ばす。
- ・ 子供が遠隔(関東)居住で自分が高齢のため当地域の教育を論じられない
- ・ 子供にとって顔見知りの大人が増える事はありがたい。職業訓練などの機会をもっと増やしたりできれば、と思います。
- ・ 子供のいない家庭としては、何十年も芦屋市に住んでいても子供社会とかかわる機会もなく、そういう生活様式にもありません。地域ぐるみという言葉でそういう場への参加を強制されたくないというのが本音です。
- ・ 子供のいない世帯も学校の様子をみられたらいいなと思う
- ・ 子供のためだとか何だとかおせっかいをしないこと。教育は家庭と学校のみでなされるのが本来。
- ・ 子供も大人になり、現在の芦屋の教育の実情には疎く、はずかしいかぎりです。どのような活動をされているのか反対に教えていただきたい。
- ・ 子供達が少なく、又遊ぶ場所もなく、子供の放課後に遊んでいる姿を見たことがない。自治会でもっと考えてもよいのでは…
- ・ 子供達とのふれあい、交流の機会を広げ、学校、家庭以外の人々と接する機会を増やす。
- ・ 子供達にせめて、あいさつの声かけをと考えていますが、それ以上、近付くことは最近の世の中では、むずかしい時があります。
- ・ 子供達に社会のいち員であるという事を理解させる取り組み。
- ・ 子供達を守る社会地域
- ・ 市長や市役所の方の意見を子どもたちに伝える場を作ると良いのでは。
- ・ 私の地域では、夏、冬に町内のクリーン作戦がありますが、その時に大人も子供も積極的に参加して、町内の人達の顔を覚え、年齢を問わず、会話出来る関係になれば、それが地域教育につながる気がします。
- ・ 児童のいる家は勿論のこと、老人世帯や若い子供のいない世帯も一緒に、顔や名前がわかる位のほどよいきよりを保ちながら、交流をいざという時のためにも保っていければと思います。
- ・ 時々集会所などで、為になる講演会を開いたら。大人からも挨拶を、声かけ等。
- ・ 自転車の乗り方が特に気になります。老人の方が歩いているでもスピードを出したりスマホをさわりながらの自転車が危険。
- ・ 自分の地域の小さい子にも知らない顔しないで一寸声をかけてやってほしい。
- ・ 自分も含め、他人の子を注意(公園などで)出来ない大人が増えたなと思います。
- ・ 社会、文化、芸術等に参画させること。
- ・ 社会教育施設、地区公民館、図書館分室の充実。特に南芦屋地区に充実した社会教育施設の設置。
- ・ 若い年よりの多いのでボランティア等活用して、安全面、気づきを知らせてもらったり、地域一体となって活動も大切。校内での開放した時の見守りボランティア等。
- ・ 住民と協共、協力できる教育。
- ・ 塾や習い事が多く、子供達が地域の教育に参加する機会が少しいと思う。

- ・ 小中学校等における地域連携教育
- ・ 少しの空地、公園も近隣の住民の騒音クレームやらであたたく子供達を見守れる環境が少ない様に感じています。大人も子供達を暖かく見守る必要があるのではないのでしょうか
- ・ 少なくとも近所の人やどこの家の人かは知っておきたい。最低あいさつ、立話ができる関係が欲しい。
- ・ 少子化の名のものの過保護はその子のためにも日本の社会のためにもならない。社会の荒波を生き抜けるよう生きる力をつけるために理不尽なことも体験させなければならない。
- ・ 上ともかかわって、そのことが地域の教育力となるし、子どもたちにして様々な「想い」を伝えていくことで、人間としての“道”を考えさせることもできるし、色々な問題を解決してくれる力にもなると思います。
- ・ 色々な面から見て、むずかしいです。
- ・ 新人、下級生等の上級生への触れ合い時で、上を見て学べる様な集団づくりへの気配り指導。
- ・ 深く参加していないのでわかりませんが、コミュニケーションを気軽に簡単に取れる場があれば、よいのかな。
- ・ 人との触れ合いを大切にすることがある。はい時間がきたので終りではなく、子供が何を求めているか、ちゃんと求めに答えられているか。を考えて教育する必要がある。
- ・ 人格形成
- ・ 人間として強くなってほしい。伸す。台頭する。その様な言葉が普通にあって良い。伸される、台頭される側にも智慧は必要だ。
- ・ 図書館の充実(改善)。定期的に見直し。本の新、旧入れ替えを行う。調べるスペースが不足している。高齢者の仮眠スペースと化している。椅子の不足も問題。ボランティア活動の推進と広報活動を。
- ・ 世代を越えた支援体制
- ・ 声かけ。知っているおばちゃんやおじちゃんからの声かけは不審者が近づくのを防止する効果もある。
- ・ 声かけ運動が良いのでは！残念ながら私はあまり外出しないので通学路になっている様ですが、どちらのお家のお子さんかわからないがときどきおはようやおかえりと言っている。
- ・ 西宮の幼稚園に通っている為、芦屋市の教育についてはあまり存じ上げません。
- ・ 先輩達の経験など、積極的に取り入れ協力も呼び掛けることが必要では。また、子供達にも、その必要性を説くべきでは。
- ・ 他人の子でもしっかり指導できるようにする。親同士もよく話し合いをし、教育以前に地域で良い子が育つような環境をつくる。
- ・ 他人の子どもにも、目をむけて、地域でも子育てできるよう地域コミュニティの力をあげていくべき。コミュニティ力がいろんなことに役立つと思う
- ・ 他人の子供に無関心でなく気付いた時によい事は褒め悪い事は注意する
- ・ 大人から挨拶をするが、子供達は答えないのが残念
- ・ 大人と子供の健全な関わりを多く経験させたい。
- ・ 大人はもっと積極的に児童に声をかけ我子のように見守るべきだと思うが、不審者扱いされると嫌なので声をかけられない現状です。
- ・ 大人同士があまり交流を持っていない事がまずもって問題だと思います。教育をする前に地域においては大人同士のつながりを持たせる事が重要だと思います。
- ・ 知らない子に声をかけるのは、むずかしい。どうしたらよいか。
- ・ 地域で何をしているのかわかりません。もしかしたら広報誌に記載しているのかもしれませんが、目に止まりません。

- ・ 浜町メンズクラブの皆様には、いつもお世話になっております。子どもたちを見守って下さり、叱って下さること、有難いことです。地域清掃の際にも子どもに役割を与えて下さり「よく頑張ったね」と言葉をかけて下さることが「役に立つことができた」と子どもに奉志の喜びが芽生えました。形式的な「愛護」ではない、表情があるつながりが生まれれば、さらに深まっていくのかもしれない。
- ・ 不審者に対する監視体制の強化
- ・ 幅広いコミュニティ・スクールなどで、学校、家庭、地域等の連携の取組を今までより、もっと力を入れてもよいのではないかと考えます。
- ・ 放課後にボランティア等を活用して、授業についていけない子のフォローや、宿題をする場を設ける等。先生だけに頼らず、保護者の専門知識を利用して、子供達に知識向上の機会を与えたい
- ・ 放課後の遊び方についての教育をして欲しいです。奥山住民ですが、大変困っています。人の駐車場に入りボール遊びをするので車が傷だらけです。親が注意しても改善されていません。不法侵入です。
- ・ 法律と規則が無ければ何をしてもよいとの考え方の社会人が多いので、地域の指導者によって考え方に偏向が生じる恐れがある。宗教も教育の名目で入り込み、信者を集める場合もあると思える。法に触れなければ何をしても良いとの考え方の親子のチェーンを切ることが必要。
- ・ 防災訓練の実施により、地域の意識向上
- ・ 防犯の対策は充実してたつていいと思う。でもなるべくある程度子供に教えたら。自信のあるかんじの子供は1人にしてもいいんじゃないかと思う。
- ・ 本気、その気でやればいいのですが、市の教育関係者についてにやってる人が多いような気がします。どの世界(社会)でも一緒かなあ。
- ・ 目上の人を大切に。挨拶をきちんとする。
- ・ 良いことは誉め、悪いことは注意できる雰囲気作り。とても難しいとは思いますが。
- ・ 緑化における公園等の見通しの悪さの改善。犯罪や害虫の問題により地域の公園利用は皆無。都会性の両立を地域の公園等に望む。公園での地域の交流しやすい願う。公園はたくさんあるのに、総合公園や西宮ガーデンズの屋上庭園を利用する人が多いのは安全性などの環境だと思う。緑が茂っているだけで庭園都市には遠い。

【市民調査】問32④家庭における教育

- ・ “身心を豊かに育む”基本は家庭における教育が大事！”生きるための力“を養い、社会生活が充実したものになるよう、親となったその日から子供と共に学んでいくことが必要です。
- ・ しつけと正しい言葉使いのできる基礎教育
 - ・健康で伝統的な食文化の継承
 - ・創造力を活かし発揮できる暮らし方の実践
- ・ 家庭内でも自分のお手伝いを分担し、満足・喜びを味わせる
 - ・食育の学び
- ・ 子どもが興味を持った事は応援する(できるだけ否定的にとらえない)
 - ・多種多様な道があると気付かせる(色々な場所、体験をさせる)
 - ・家族がお互い助け合う姿を見せる
 - ・失敗を責めない、次に活用させる
- ・ 心と体の健康
 - ・毎日しっかりやるべき事を自分でする。
 - ・自分で勉強が出来るようにする。
- ・ ☆問題のある子は親に問題がある。
公共の場でのマナーは絶対身に付けさせて頂きたい。分別がわからないまま大人になった時“何でそれが悪い事”なのか意味がわからない人になる。親(家庭にいる大人)は常に意識ある行動を心掛けねば。
- ・ 1、2に同じ。親がすごく身勝手なのが目立つ。口だけで子供を扱いたがるが、それが思うようにならないことに勝手に腹を立てている。子供はそんな親を見ている。自ら子供を通して学ぶ気持ちが全くない。
- ・ 1日に少しでも良いので親子で会話をする時間を取れるよう、例えば朝食は必ず一緒にとるとか、何かひとつ決めておくとよいと思う。
- ・ あいさつ・マナー等、最低限のしつけをすること。
- ・ あいさつや感謝の言葉を自然に出せる子供たちを育ててほしいです。
- ・ 愛情を持って常識的に接する
- ・ 朝読、家読など読書活動を取組。
- ・ 今の若い親、先生もなっていない
- ・ 上同文、”和やかな家庭には良き子が育つ”何んでも話し合える雰囲気や、”和顔・愛語賛嘆”を心がけると良い。
- ・ お金の問題で、子供の教育にストップをかけてしまう事がなくなる様にして下さい。収入が少ない家庭の子供がお金でつらい思いをしなくてもよいように。
- ・ 大人が一生懸命真面目に生きている姿を子供に見せる。対話の時間を多く持つ。
- ・ 思いやり
自立心
- ・ おもいやりのある子どもに、そして家族で何でも話しあえる様な家庭であれば、おのずと子どももやさしい子どもになるのでは？
- ・ 親が子供に関心を持って、もっとかかわるべきだと思う。特に若い親とスマホの関わりを少し注意すべきだと思う。
- ・ 親と子供の信頼関係、絆を深める方法、考え方。病気やケガを患った時の正しい判断や、病院の受診の仕方を知る。
- ・ 親と子の会話の大切さ。
- ・ 親と子の秩序ある関係
- ・ 親の背中で子供を教育する。

- ・ 会話を常にするように心がける。
- ・ 各家庭で子どもをしっかり見守り、時間をかけて語り合うことも大切。
- ・ 各家庭でのしつけ
- ・ 家族で参加できるイベントが季節ごとにもっとあれば良いと思います。
- ・ 家族で楽しく過ごせる時間。どこかえ遊びに連れて行くのではなく家で的一家団欒など。
- ・ 学校以上に家庭教育は大切である。殆どは家庭環境で決まる。
- ・ 家庭教育は基本ですが、親の役割を教育機関にまかせすぎている先生が大変。
- ・ 家庭で基本的な躰を親が教えていない。親も教えられていない。高学力よりも必要と思う。
- ・ 家庭において日々、子供とコミュニケーションをとって、学校でのできごとやクラブ活動等、なんでも良いので話をする。
- ・ 家庭は一つの社会(国であり会社であり…)家族が仲良く生きるには～！！そこから考えてほしい。子供だけを育てるのではなく、全員が成長すべきだから。
- ・ 家庭力を高めるための何か？
- ・ 基礎的なしつけの充実
- ・ 基本的な事(あいさつ・一般的なマナー)を家庭でしっかり教える。
- ・ ゲームを1時間以内にした方がよい。遊ぶ時は、ゲームが出来る友達の家じゃなくて、おもちゃや他の事をし遊ばせて下さい。
- ・ 公園や川近くでBBQやピクニックができるスペースを増やせば、家族もそろえて一緒に週末や休日を過ごすことが増えるでしょう。
- ・ 子供の悩みに相談出来る機会をもつこと心掛ける。
- ・ 子どもも親も忙しく、ゆっくり向かい合う時間が取りにくい。そこは親が変わっていかなければならないと思う。
- ・ 困っている家庭の発見、支援。学習環境が整っていない子への指導。
- ・ コミュニケーションを増やす。
- ・ これ以上、子育てにお金がかからないよう市教育を高めて欲しい
- ・ 子を自立へと導く生活習慣の確立
- ・ ささいな事でもほめてあげる心。一生懸命さ。思いやり。
- ・ しつけ
- ・ しつけ、何でも意見が言える場所であること。心が落ち着く場所であること。自立するまでの道筋をある程度立ててあげられること。
- ・ しつけ、社会的モラルを教える。親自身が、モラルを守る。社会を広い視野で見ること。親の意識の改革。親がもっとしっかりしてほしい。
- ・ しつけ、道徳心、我慢強いことを父母が教えることが一番。テレビゲームなどは一切禁止することです。テレビの出たとき一億総白痴化といった人がいたが今はもっと白痴化環境が進んでいます。
- ・ しつけを良くする
- ・ 社会性の育成・弱者への思いやりを家庭で育てて欲しい。
- ・ 少子化が進み、親世代が家庭教育について知らないと思われる。親世代に対する教育が必要。

- ・ 食育、食の安全性
- ・ 食をおろそかにしないように注意したい。
- ・ すべて学校におまかせでなく、家庭教育は人間の基礎の部分を作るもの。親の自覚が足りない。何をどこまでしたらいいかわからない親。小中学校では、勉強だけでなく、友達と交わり、人とどうつきあっていけばいいかを家庭、地域を通して教えなければならない。
- ・ 整理整頓
- ・ その家庭でいろいろ問題があっても違うので解答は違う。
- ・ それぞれの家庭での生活が異なるため(共働き、専業主婦)なかなかむづかしい事だと思います。
- ・ それぞれの家庭にはそれぞれの価値観はあり、一概には言えないが、物の大切さを忘れている若い人々(親)がいるので何でもすぐおもちゃを与えすぎていることを気づかせるのには、どうしたらいいのか。と思うところがあります。
- ・ それぞれの家庭の文化を大事にし、それぞれが誇りを持っていけば、子どもたちにはゆるぎない精神的な柱を持って育っていくのではないかと思います。まずは大人がぐらぐらせず、しっかりとビジョンを持って生きているところを子どもに見せることが教育であり、何かを教えることが教育ではないと思います。大人が満足して笑顔いっぱい生きることから始めていけたらいいと思います。
- ・ それぞれ違うけれどもお互いに認め合って(家族も含め)話し合いながら、共生していける様に気をつけています。
- ・ 大変気障(きざ)の様ですが、英語の諺で相応しい言葉がありますのでそれを引用します。
 - ① 今日出来る事は明日に伸ばすな日々完結主義
 - ② 点滴石を穿つ
 - ③ 悪事千里を走る
- ・ 他人に対しての思いやり、挨拶等
- ・ 他人まかせにしない親への働きかけ。
- ・ 他人を思いやる心の育成
- ・ だめなことはダメと子供に言えるような親になるよう努力。勉強をさせるよりまずコミュニケーションが大事。
- ・ つまるところ教育格差とは教育に関心の高い御家庭とあまり関心のない御家の格差だと思います。市全体の教育レベルを押し上げるには、常に教育に関する情報を各家庭に発信し、手の届きやすいところに教育機会がある状態にしておくのがよいと考えます。
- ・ 積力的に家族どうしで会話する。一緒に食事をする機会を増やす。
- ・ とかく勉学に重点を置きがちだが、健康であることや社会の中で生きていく上での礼儀、行儀等基本的な”しつけ”を親御さんにはまず見つめ直してほしい。
- ・ 特になし
- ・ 何処に出しても恥ずかしくない教育を子供達に受けさせるべきだと思う。
- ・ どのどんな学校に通っていても、基本は家庭だと思います。学校でどんなことがあっても家に帰れば、安心できる家庭作りになるよう、そのような講座等を(話を聞く機会)をたくさん作ってほしい
- ・ なかなかみえないが、横のつながりと傾聴を学校の担任も身に付け、連携を取り合い、共に育てているというのを持つ。
- ・ なし
- ・ なし
- ・ 何事も話しあえる、けじめの有る、責任感の有る

- ・ ネグレクトをされている児童(兄弟)たち(数回通報されている家庭)へのアプローチを学校サイドからも注意して見守っていただきたい。改善されていない家庭があります。岩園小にお願いします。ご近所の方々がお世話をしている状態が続いています。泣き叫ぶ声もあるようです。
- ・ のびのび育てることと、叱らないこと、放任は違いますが、勘違いしている親が増えている。親の教育が必要だと思う。
- ・ 離れて暮す家族が夏休みにいっしょに旅行したり、祖父母もいっしょに過ごす場をもつ。
- ・ ヒステリーにならない様に家で子供を育てていったらいいと思う。
- ・ 人にはやさしく、思いやりのある気持ちを持つ様な子供になる様、親子さん教育してほしいです。
- ・ 貧困層の学習格差、虐待の早期発見、対処
- ・ 文化、芸術、スポーツ等の体験活動を通じ、心豊かで健康的な教育環境を整える。
- ・ まず、家族、1人1人を大切に想える事。そして、自分自身かけがえのない存在である事を自覚他人を気使い出来る、人を大切に出来る人間に。
- ・ まずは、離婚せず、父、母で子供を育て父、母の愛情をもって、育てていくこと。生きることの楽しさを教えていく。
- ・ まず親が家庭で小さい時に何が悪くて何が良いのかお教える。毎日食事は朝、昼は(給食)ばん、キッチンと食事を作り、マナーを教える。もっと子供をしかり、良い事をしたらほめる。
- ・ マナーについて教えてほしいし、親子で実践してほしいです。
- ・ マナーの悪い子供達を見ていると、その親が大変悪い様に思われます。自転車の進入禁止、犬の飼い方、ゴミの問題、等々、親の教育からしないと、いけないと思えてきます。
- ・ マナー等もっとしつけをきちんとし、他人の迷惑にならない様に教育してほしいと思う。
- ・ ママ同士の交流が少ない。
- ・ マンションの廊下を歩いていた事親に大声で、文句をいっている声が聞こえる
- ・ モラル、礼儀作法、マナー等、人としての基本的な事の教育。
- ・ モラルの教育
- ・ 良い事、悪い事の”けじめ”をはっきりと教える事、及礼儀
- ・ 良いことと悪いことをしっかり教える。礼儀を教える。(親の教育がなっていないことが問題では?)
- ・ わが家は芦屋に住み初めてから13年です。子供は私立中学～大学、芦屋市の教育がどのように行われているのか把握できませんが、私が尊敬する方は、芦屋の教育に人力されています。植松先生です。知人です。
- ・ を中心に行動してほしい
- ・ 芦屋は“じどうかん”もなく、小さな子供を育てるフォローが少ないように思う。
- ・ 芦屋は他地域から見たらまだゆとりのある世帯が多いけれど、子供が淋しい状態になっているのは個々でかわりなくあると思います。親が心のゆとりがないと、なかなか大変だと思います。これは難しいプライベートな事なので、わかりません。
- ・ 芦屋市の親の教養、知性度の格差がかなりあるように思う。学校教育のせいにする前に家庭環境・教育を向上させ道徳的また常識ある子供に育ててほしいです。
- ・ 衣食住がそろっていて、勉強する習慣を身につける。忙しくても少しの時間を作って、親が目配りし、生活習慣を身につける。根気強く机に向える学習に対する体力を身に付ける。
- ・ 違いを差別するのではなく、違いを認めあえる社会になるように、家庭内でも教育していくことに力を注ぐべきだと思う。
- ・ 一緒にごはんを食べる。あいさつ、けじめをつける。

- ・ 一般的なマナーは学校に任せるのではなく、家庭で行なうものだと思います。と言っても、何もなく家庭で出来る様な状況にないと思います。就学前に保護者への何らかの研修を行うべきではないでしょうか。
- ・ 何か、こじんまりとかたまり過ぎでは。習いごとに車でのお迎え。個々での積極性に欠けるのでは。自分で、何事もやるのが大切では。
- ・ 家族だんらんの中での思考と発言への教育。
- ・ 家族との時間、団らん、食事などをまず確保してほしい。安心して帰れる場所を作ってやりたい。
- ・ 家族間のコミュニケーション。
- ・ 家族構成は色々パターンがありますね。それぞれの家族にはそれぞれ様々な事情があることを園学校でくみとって下さっていること、感じております。ご配慮ありがとうございます。やはり、PTA活動(幹事となること)につきましても、もう少し配慮いただけませんか？母親ひとりしか参観できない場合、運動会での昼食後の育友会競技でPTA要員になると子どもへの心理負担を慮ります。祖父母も来校できない、お弁当をゆっくり食べられない。「PTA役員はできない」と堂々と言わせてほしいです。できないものはできません。母が頑張っても役員をやっても、いざ母が倒れた時に誰も助けてくれません。役員をしている仲間に子どもと一緒に過ごさせてもらえないかとたずねましたが、快く承服してくれる人は皆無でした。
- ・ 家庭での会話をよくして、父娘のコミュニケーションを取って行く。
- ・ 家庭では限度があるのもっと学校でも力を入れて欲しい。
- ・ 家庭で教育できる。両親を教育してほしいです。
- ・ 家庭においては個々で判断し、すすめるべきだと考えます。
- ・ 家庭において社会的マナーを教える。親も子供のまわりに注意をはらって見守り育てる。
- ・ 家庭以外でも皆にあいさつが出来る。子供であり大人でありたいそんな教育が礎となっているのが一番です。
- ・ 家庭円満である事。親の生き方。
- ・ 家庭教育が一番大事だと思います。両親が仲良く、会話のある家庭の子供は、心豊かな子に育ちます。
- ・ 家庭教育に重点をおくべき。特に若い父母の教育を徹底すべし。
- ・ 家庭内でのコミュニケーションが大切だと思います。勉強ができる、できないではなく、しっかりと自分の考えをもった大人になれる様、教育することが大切であると思います。
- ・ 家庭内においても親がきちんとした行動を取っておれば、子供も見習うものです。会話も必要ですが、まず親が行動で示すべき。
- ・ 家庭内においても両親その他大人からのいじめをやめる。まず大人が手本を示し、安心できる家庭にすることが大切です。
- ・ 家庭内の事は良くわからないです。
- ・ 我子さえ良ければという勝手な考えや、非常識な親の教育が必要。
- ・ 外に相談できる余裕を持って子育てする事、子供も自分も悩みをかかえないようにする事。誰かに頼ってもいい思いながら子育てする事。
- ・ 核家族における現代の教育は母親にかかる負担がとても大きいように思います。昔のように他人の子供も注意できるようになる為には、学校や地域、家庭のつながりがとても重要だと思います
- ・ 学業の復習の徹底
家庭内の団欒(会話)
- ・ 学校と家庭の連携を強化し、学習面、生活面での問題を共に取り組める様になると良いと思います。
- ・ 学校や、市の教育関連団体からの情報発信を強化頂き、それを基に子どもとの接点を増やすことで現状を知る機会となる。

- ・ 学校や地域でいくら教育に力を入れても、結局は家庭教育が一番重要だと思うので、そのことを大人がきちんと認識する必要がある。
- ・ 感謝の気持をもち表現出来るよう努力会話が大切だと思います
- ・ 甘やかし過ぎ。なのか、ゴミのポイ捨て、マナーの悪さが目立つ。
- ・ 基本は家庭が第一であるという教育が必要。
- ・ 基本的なあいさつ。夫婦仲を良く、安心して過ごせる空間を作る。
- ・ 基本的なことですが、一緒にごはんを食べながら、話しをするなどして、子供の様子、変化を親が気づいて問題があれば学校へ相談できる雰囲気があれば安心だと思います。
- ・ 基本的なしつけ、善悪の判断、他者への思いやり、知的好奇心をはぐくむことetc. があげられます。日常生活の中で、親自身も「心の眼」で物事の本質をみつめ、子供に接し成長してゆければと思います。
- ・ 基本的な生活をきっちりさせ子どもが話しやすい家庭にする
- ・ 基本的な道徳やマナー・しつけは家庭で教育することが大前提だと考えます。学校との連携を密にする情報公開(学校で問題になっていること、学校が親に対して希望することなど。)を積極的にお願いしたいです。
- ・ 基本的に子供は与えられた環境の中で自分の行動を探していけるものと信じていますので家庭内では厳しく、しかし親が色々な意見をきき大きな心で対処しながらほっとする気持を与えてあげることが大切と思う。
- ・ 規則正しい生活を送れるよう、親が気をつける。携帯電話、テレビなどの使い方を子供にまかせきりにしないで約束事を設ける。
- ・ 共働きが芦屋でも増えてきて、なかなか家庭での教育には時間的に辛いものがあります。実際、学童の後迎えに行くと18時を回ります。もちろん自分の子供には自分の手で育てるべきです。これからもし「共働き用家庭の宿題」(学力が劣っている子は)など別にしないとダメかもしれないですね…。私はフルタイムで働いているので専業主婦の方々のお子さんの学力とか分からないのでかたよった意見ですみません。
- ・ 教育の中で「家族」程大切な場はないと考えます。人間が人として生きてゆける力は家庭で育まれると思います。大人も一生勉強です。よりよい社会人になるよう親子共々精進しなければと思います。
- ・ 教育を評論するなどということ。きっぱりと言うべき。学校はプロであるべき。プロは素人の評論を聞く意味がない。プロとしての資素を向上はのぞむが、家庭では家族がなかよく、平和に暮すことが一番、競争をのぞまい姿勢が大切だと思う！！
- ・ 近所の子と遊んだり、家族で遊んだり。今は幼児期なので思いきり遊ばせています。勉強はその後でいいのでは。と思っています。
- ・ 携帯に依存しないコミュニケーション
- ・ 現代社会に適した子どもに対する教育の基本方針、方法、心構えを学ぶ機会を設けること。
- ・ 己だけが良ければいいという親がほとんど。子供が自分から進んで学べるハウツーをもっと親が勉強しないと、ね。
- ・ 公立中学の進学状況などをもっとわかりやすく発信してもらいたい。地域の医師や専門家による子育てや健康、病気、食に関するセミナーを幼、小、中学校の施設を利用し、保護者が学べる場を充実させてほしい。
- ・ 考え方が古いかも知れませんが、男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるべき。言葉使いが特に悪い。芦屋はお上品な街として知られているのだから、マナーの一部として指導すべき。
- ・ 最近は共働き家庭が増えているので、子供との関わりが少なくなっている家庭も多いと思います。親は、子育ての時間は、仕事を生きがいにするのではなく、子育てを生きがいにして、仕事を可能なだけセーブして子供と向き合う事が大切なのは。
- ・ 三つ子の魂百迄小さい時(1才から3才迄)に、ある程度厳しく躾けないと我がままな子になり大人になっても直らない。
- ・ 仕事から帰宅した後どのくらい学習につきあえるかが課題。工夫が必要だと思う。塾ではなく寺子屋のようなシステムがあれば良いと思う。

- ・子どもが基本的な生活習慣を身につけることが出来るように。早寝早起き、朝食をとるなど家庭は気をつけた方がいいと思う。
- ・子どもとの会話を持っていない家庭に何らかの問題を生じています。子どもの様子に関心を持つ事。外出時の行き先や帰宅時間などチェックする事が必要と思います。
- ・子どもの性格・個性を理解出来る保護者であって欲しいと思います。親子が心にゆとりがあると躰も思いやりも家庭学習(宿題)も身に付く様な気がします。
- ・子どもへの常識やマナーを教えるのは本来は親ですが、近頃はその親でさえマナーがなっていない人が増えているので、親も子と一緒に学べるような常識やマナーの冊子(道の歩き方など)があったらいいなと思います。
- ・子どもらしく元気に育つように、気を配り、個性を大切に育めるよう工夫をし、子供とともに親も成長していけるように暮らすこと
- ・子どもをしつける以前の親が増えたと思う。この親に育てられるのはかわいそうだな、みたいな。
- ・子ども達の言葉づかいの乱暴さや思いやりのなさに驚きます。親がきつく叱ったり、無理じにする姿もあり、子を育てることを心身共に成長させ学力のみにならないよう、親の姿勢が見直せる体制づくりをして下さい。塾に頼らず自ら学ぶ楽しさを身につけて体感すると子どもは心身共に伸びます。
- ・子育てについての正しい知識を親が持つこと。
- ・子育てに専念できるように、経済的、環境、両面での支援
- ・子育てに悩む親への相談支援、仕組の充実
- ・子供にも、配偶者にも、会社の部下にも物が言えない方が増えているのではないですか。同様に学校でもそうなっているのかもしれませんが。上司は上司らしく部下に言わねばならないし、そこが欠如してしまうとすべてが回らなくなります。
- ・子供の成長には家庭の教育がいちばん大切だと思います。まず親がそのことをしっかり自覚して子育てすべきだと思います。親の学ぶ機会が必要なのでしょうか。
- ・子供の勉強みるのではなく心を見て育ててほしいお母さんのしている事を子供はみて育つ。親が模範になれているのか。
- ・子供の理解度の確認や学力不足の補完が必要と思います
- ・子供の話をよくきき、話し合う。親の都合を押しつけない。
- ・子供は親の背を見て育つと言われているが、日本全体の経済向上の為と言われ、女性の社会進出が進められた。借金でも海外旅行する世の中であれば、子供の教育を他人まかせでお金を稼ぐ方に精力を注ぐ社会で、家庭ではパック入りの食事ばかりで精神的な満足が得られない。子供への親の愛情の欠如のない家庭内の社会性の勉強出来る様にすべきであると思う。
- ・子供を庇護すべき対象ではなく、1人の社会を構成する一員としてしっかり対応する姿勢を親が持つこと。社会人として自立できていない人が多すぎる様な気がする。
- ・市民は、どんな家族構成、経済状況、社会的地位評価に違いがあっても、共にこの地域で生きて行くことの意味と大切さを話しあえる家庭が大切です。
- ・思春期の子との関わり方は親子だからこそ難しく、大変です。勉強も大切ですが、親子で参加出来る事があれば、ふれあえて良いのではないかと思います。
- ・私の妻は、小学生の塾の講師をしているが、子供達の学力が年々低下していることや親の教育力や常識力のなさにいつも怒っている。家庭での教育力が、大切だと思う。二極化がどんどん進んでいると思う。日本の未来は明るくない。そういう意味では、教育力はすごく大切だと感じている。また読書量の少なさにも驚く。
- ・私の周囲では十分教育されているように見受けられます。お母さんが必ず玄関まで見送っておられますし
- ・私自身、先ず健康第一、子供3人、孫4人、■それぞれ成人してます。
- ・私自身が両親に育てていただきました事を振り返りまして、良い道徳しつけ、地域の方々との交流から(学校教育を含めて)自分の生きてまいりました考えを家庭で(花の)種を育てる様に花を咲かせてまいりたいと思います。

- ・ 視野が狭い保護者が多いので、保護者自身も学ぶ必要がある。
- ・ 自分の家庭と他人の家庭との共通点と、違う点を自信を持って教え、実行できる、家庭づくり。
- ・ 自分を含めて、周囲でもあまり問題を感じるご家庭ではないような。特にありません。
- ・ 社会的ルール。食育
- ・ 若い親の法違反が子供に法違反を教えている(信号無視等)
- ・ 若い両親が共働きのケースが多いので子供がほっておかれがち。もっとコミュニケーションのとり方を学んでほしい
- ・ 主人は仕事で遅く私も正社員なので子供と接する時間が少なく、教育等は保育園でとってしまいます。
- ・ 習慣を身につけさせる。
- ・ 常に子供達が見ているという自覚を持っている事。駐車、停車違反を子供の見送りの為に行っている方々が多い。
- ・ 植物を育てるように、成長に合わせて、太陽にあて、養分を与える。情操教育も必要だ。優れたものを見、聞き、体験させる。又、社会見学、体験も成長には欠かせない。
- ・ 色々な家庭があると思うが、とてもお金持ちの家庭であっても両親の仲が悪いと、子供に悪影響が生じる。どんな家庭でも週1回は必ず家族みなで食事をする、ことが大切と思われる。
- ・ 食育、子どもたちとの温かいかわり合い、他人への配慮(公共でのマナー等)をいつも穏やかな笑顔で子どもたちと接する中で温かい子どもたちを育ててほしい。家庭が子どもたちの安心の場であってほしい。
- ・ 食事のしつけあいさつのしつけもってほしい
- ・ 食事の充実。話しかけ。
- ・ 食習慣、生活習慣、家族の大切さを学ぶ
- ・ 親が子供と遊ぶ。子供を所有管理しているだけの家庭が多い。虐待が疑われる場合の通報窓口を明確にする。
- ・ 親にどの様に子供を育てて行くのが良いかとかの講習会やディスカッションの場などがあれば良いと思う。
- ・ 親のモラルの低下
- ・ 親の養育能力の向上
- ・ 親は、自分の親以外に見本がない。いろいろな情報交換が必要である。
- ・ 親も忙しい人が多いが低年齢の教育がいかに大切なのか、福祉センターでの研修やサークルで活かしていけたらと思います。家庭で子育てしている人がもっと施設を活用出来るよう、むくむくを43号線より上にもうひとつ必要。
- ・ 親子でも兄弟でも色々なことを話せるようにしていきたい。
- ・ 親子の学習向上
- ・ 人には優しく、自分には厳しい目を向け、人様に迷惑をかけない。基本の基を教え導く。家族は最大の理解者であり、話し合いのできる環境をつくる。
- ・ 人に迷惑をかけない事。目上の人をうやまい人情の有る人間になる。最低これ位の事は、出来る人間になれる様に
- ・ 人の気持ちに寄りそい、人間として温かい気持ちを持てるようにする。子供には、人生で何が大切なのかを個々の家庭で話をしていくと良いと思う。
- ・ 人はそれぞれ、性格も体格も好みも能力も皆違うけれど、皆等しく大切な個々の命を授かっている事、その事が結局、様々な豊かさを生み、優しい気持や楽しい気分を作ってゆく事を、教えるように、大人は子供達の周囲で行動する事。
- ・ 人格形成

- ・ 人格全般にかかわる教育が出来る様心したいと思う
- ・ 人間人生で最も大切な時期、親子の愛情。良い家庭→よい社会→良い国家→よい世界…国々の平和家庭が一番大切な社会と思われる。家庭教育を大切に下さい。
- ・ 世の為に役に立つ事をすれば金は後からついて来ると言った奴がいるが、世界の多くの人は金の為に働いている。素直に考えよう。
- ・ 生活におわれる親の心のゆとりをつくる
- ・ 青少年犯罪の低年齢化、悪質化が国内でも散見されるように感じますので、芦屋市においても家庭内で子どもが何を考えているのか、何を悩んでいるのか、共有・理解できる環境づくりが大切だと思います。
- ・ 先祖を敬う心
- ・ 他人をうやまう心、正しいマナーを身につけさせる為に保護者(最近の若い)に対してもマナー、社会常識を理解すべく学校側も支持、促進してゆくのが良いのではと考えます。
- ・ 大人のあいさつ運動
- ・ 大人のマナーの悪さが目につくのに、その親が、子どもに対し、きちんと生活や社会のマナーを身に付けさせることができないと思うので、難しいでしょうね。育ちの悪さが身勝手に生んでいる。そんな方が多い中、子どもが、親と同じ様になるのは、当然のことです。親(大人)の教育をやり直すこと。しかないです。
- ・ 団らん
- ・ 男女の区別なく自分が家族、学校、地域において出来る事を進んで行う事ができるような人になってほしい。どのような教育が必要なのか。難しいです。
- ・ 地べたに座って話しこんでいる子供が多い。しっかり立って話してほしい。
- ・ 地域イベント等に参加
- ・ 地域や社会に役立つことが生きる上での喜びと感じるよう育ててほしい。そのような姿を大人が見せていかねば…と思います。
- ・ 中学校、小学校の孫達は、今のところ真面目に暮していますが、それは親に叱られ、愛され、食育もしっかり日々を過ごしているからだと思います。最近の親達は、今のラクな生き方に慣れ、子供達にも自由な選択をさせることが多くなって来ているのは時代の流れで仕方ないことですが、親子の対話の大切さ、親から真の愛を感じる子供達が増えることを願っています。
- ・ 朝起きてから寝るまでの日常生活で、早寝早起き、衣類の折りたたみ、感謝しながら食す、規則正しい勉学等ごと普通のことを守り、一生の習慣となるよう身につけさせること。
- ・ 朝食、夕食など食育も大切だし、基本的な道徳心を育てる場だと考えております。その気持ちで子供達を育てたいです。
- ・ 働きながら子育てする人が多いので、地域とより、個人個人の労働環境によってできることできないことの差がでてくると思います。働きながら子育てする人の金銭面、ストレス面、時間の面で何か助けになるようなことができれば良いですがむずかしいですね。
- ・ 同上
- ・ 同上
- ・ 道徳やマナーに力を入れる必要があるが、親の世代もそれに関して欠如しているかも…
- ・ 道徳教育、公衆道徳を守るよう導く。他人を認める教育
- ・ 道徳教育、社会をのぞかせてやること。コミュニケーション能力の向上。
- ・ 道徳等を家庭でもっと行ってほしい。親子の係わりを学校まかせにしない■。

- ・ 道徳面を主体として、人としての在り方、生き方を親が日常生活を通じて、教育をする。
- ・ 特になし
- ・ 特になし
- ・ 特に小学校高学年位の子を見ていると、朝がとてつらそうな子を良く見かけます。塾など忙しいと思うのですが。
- ・ 日頃、両親共にフルタイムで働いているので、今は保育所たのみになってしまってます。生活に最低限必要な礼儀等は教えているつもりです。でも、それが正しいのかわかりません。
- ・ 日常生活習慣の充実。
- ・ 貧困家庭、母子、父子家庭に対する見守りサポート、社会的弱者からの請願、あるいは自覚を求めても、無理であろう。
- ・ 不安定な環境におかれている子ども、保護者をサポートできる態勢が整うように。
- ・ 不遇な子がいないか。公的な目で各家庭を見守る必要があると思います。社会全体で子どもを守るべき。
- ・ 夫婦が仲良く暖かい環境を作っていつでも子供が相談出来る雰囲気や常を保つよう心がけてほしい
- ・ 夫婦でも、親子でも、向き合ってお互いが納得するまで話し合える環境は大切だと思います。子供は親や大人の所有物ではなく、一人の人格をもった大切な命ですから。
- ・ 父兄と教員の連絡、会話の充実
- ・ 父母ともに子供と一緒に食事や生活することの全般を行動する。不得手な事でも子供と共にする。PCやスマホ等のゲームはやらない。家族友人であることを大事に。
- ・ 物事の善悪、人としてのマナー、相手の心の痛みがわかる様な人間になってもらう様、家庭での取り組みが必要ではないか。
- ・ 勉強も大事ですが、家庭でないと出来ない教育があります。人間として何が大切なのか、親が知るべきです。むづかしいことですが親も一生勉強だと思います。
- ・ 勉強以外の点に集中して行う事が望ましい
- ・ 保護者宛に放課後の遊び方について指導するよう教育委員会から書面にて周知して欲しいです。人の駐車場に入り、ボールが車にあたるとどうなるのか指導して欲しい。人の駐車場に入り、フェンスをこえていくのをやめない子供達に困っています。
- ・ 母子家庭、父子家庭であることで、学習環境が損なわれないように行政支援を厚くして欲しいです。
- ・ 毎日規則正しく生活する事。
- ・ 裕福な家庭が多いのか、大学を中退したり、卒業後ニート、フリーターになっている子をよく見る。人生の厳しさ、働くことの大切さを教えていくべき。
- ・ 夕食くらいは家族そろって同じものを一同で食べるということは今の生活では不可能なんでしょうか。これがあるのとないのとでは大人になり高齢者になった時ずいぶんちがうのではと思います。
- ・ 余談に成りますが私は3年前から足が不自由に成り、現在マンションの下の階の5年生、2年生兄弟の男の子二人に新聞・チラシをゴミステーションまで2年余り運んで呉れています。これも家庭教育が充実しているからと感謝しています。
- ・ 幼児期からの家庭でのしつけが全ての基本。両親の子供に対する愛情の発露がしつけであるべき。社会の一員としての自覚を徹底して身につけさせる事が肝要ではないか。
- ・ 幼少よりの躰の徹底。
- ・ 躰
- ・ 躰の大切さを見直す。子供は親の背中を見て育つ。親自身が今一度自らの言動を振り返り、原点に戻る。親子の会話を大切にする。食事時のテレビ、携帯は、止める。

- ・ 躰等の訓育